

Cisco Configuration Professional を使用した基本的なルータ設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco Configuration Professional のインストール](#)

[Cisco CP を実行するためのルータの設定](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[インターフェイスの設定](#)

[NAT の設定](#)

[ルーティングの設定](#)

[その他の設定](#)

[CLI 設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[ルータのユーザ名とパスワードを変更するには、どうすればよいですか。](#)

[Internet Explorer 8 を使用して Cisco CP にアクセスすると内部エラーを受け取ります。この問題を解決するにはどうすればよいですか。](#)

[Cisco CP をインストールしようとする、次のエラー メッセージを受け取ります。「Unable to read the source file. File could be Corrupted. Please re-install Cisco Configuration Professional to resolve the issue.」この問題を解決するにはどうすればよいですか。](#)

[Cisco CP テクニカル ログにはどのようにしてアクセスできますか。](#)

[ルータの検出に通常より時間がかかっています。この問題を解決するにはどうすればよいですか。](#)

。

[Cisco CP で IPS 設定ページを表示できません。この問題を解決するにはどうすればよいですか。](#)

。

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Configuration Professional (Cisco CP) を使用して、ルータの基本設定を設定する方法について説明します。ルータの基本設定には、IP アドレス、デフォルトルーティング、スタティックルーティングとダイナミックルーティング、スタティック NAT とダイナミック NAT、ホスト名、バナー、シークレットパスワード、ユーザアカウント、およびその他のオプションの設定が含まれます。Cisco CP では、使いやすい Web ベースの管理インターフェイスを使用して、Small Office Home Office (SOHO)、Branch Office (BO; 営業所)、支店、中央サイト、本社など、複数のネットワーク環境内のルータを設定できます。

Cisco Configuration Professional の詳細は、『[Cisco Configuration Professional クイックスタートガイド](#)』を参照してください。

前提条件

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

Cisco IOS® ソフトウェア リリース 12.4(9) が稼働する Cisco 2811 ルータ

Cisco CP バージョン 2.5

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

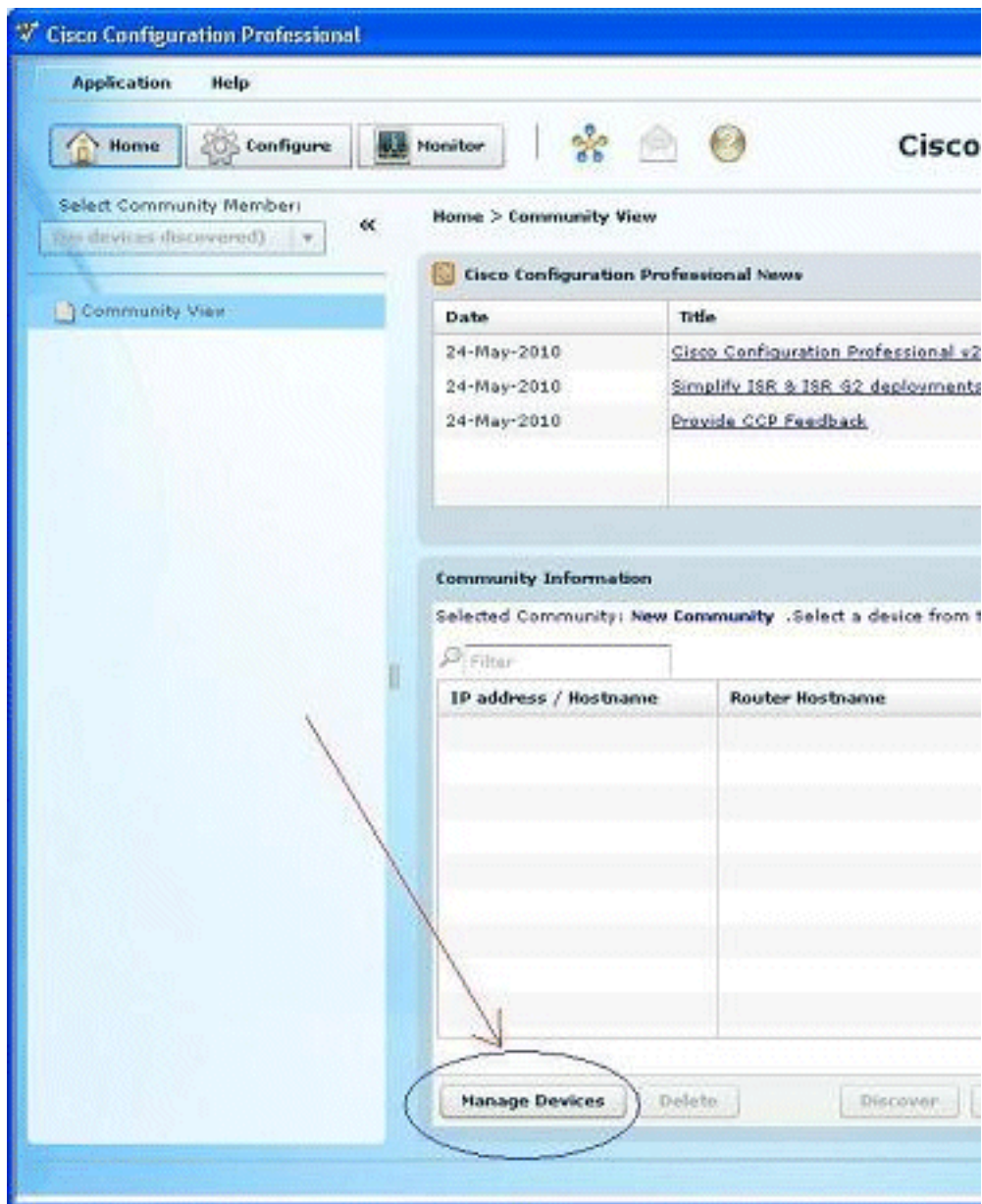
Cisco Configuration Professional のインストール

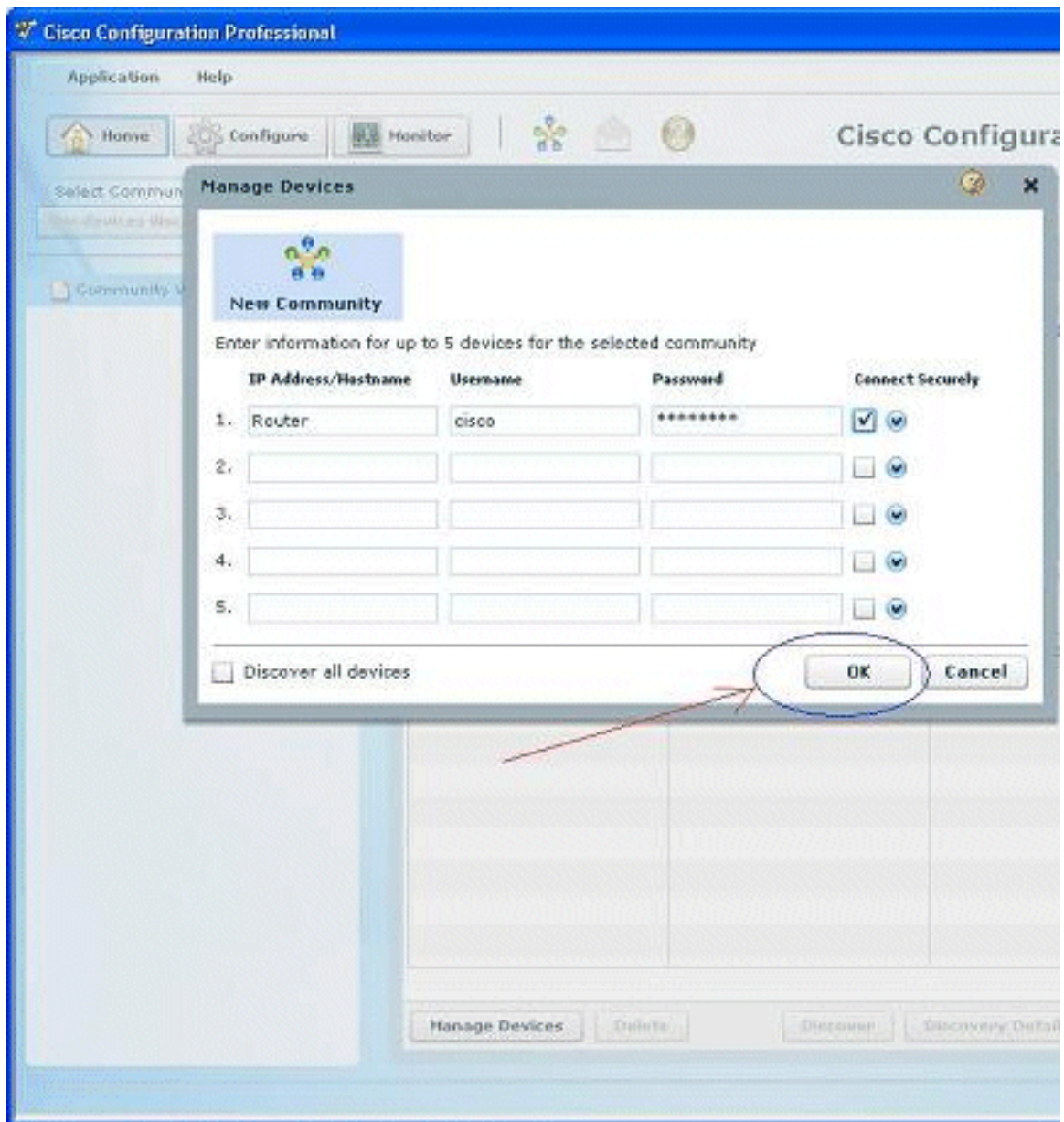
CCP をインストールするには、次の手順を実行します。

Cisco CP V2.5 を [Cisco Software Center](#)（[登録ユーザ専用](#)）からダウンロードし、ローカル PC にインストールします。

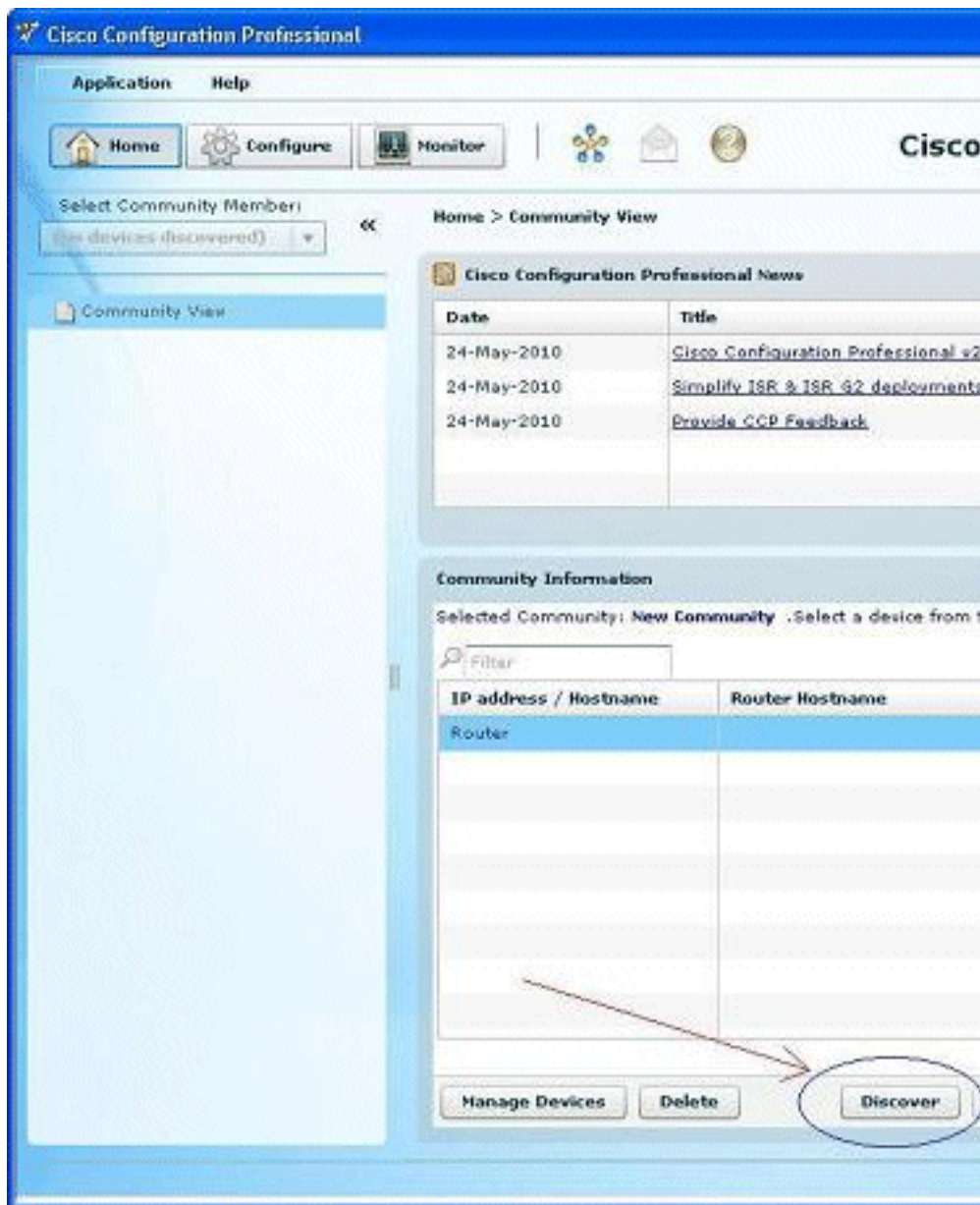
Cisco CP の最新バージョンは、[CCP Web サイト](#)にあります。

ローカル PC で [Start] > [Programs] > [Cisco Configuration Professional] の順に選択して Cisco CP を起動し、設定するルータを含む [Community] を選択します。





設定するデバイスを見つけるには、ルータを強調表示して [Discover] ボタンをクリックします。



注: CCPv2.5 と互換性がある Cisco ルータ モデルおよび IOS のリリースの詳細は、「[互換性のある Cisco IOS リリース](#)」セクションを参照してください。

注: CCPv2.5 が稼働する PC の要件の詳細は、「[システム要件](#)」セクションを参照してください。

[Cisco CP を実行するためのルータの設定](#)

Cisco ルータで Cisco CP を稼働させるには、次の設定手順を実行します。

Telnet、SSH、またはコンソールを使用してルータに接続します。

次のコマンドを使用して、グローバル設定モードに入ります。

```
Router(config)#enable Router(config)#
```

HTTP および HTTPS が有効で、標準外のポート番号を使用するように設定されている場合は、この手順をスキップして、そのまま設定済みのポート番号を使用してください。

次の Cisco IOS ソフトウェア コマンドを使用して、ルータの HTTP または HTTPS サーバを有効にします。

```
Router(config)# ip http server Router(config)# ip http secure-server Router(config)# ip http authentication local
```

権限レベル 15 を持つユーザを作成します。

```
Router(config)# username <username> privilege 15 password 0 <password>
```

注: 設定したいと思うユーザ名 および パスワードと <username> および <password> を取り替えて下さい。自分のユーザ パスワードやイネーブル パスワードと同じものを使用しないようにしてください。

SSH および Telnet にローカル ログインおよび権限レベル 15 を設定します。

```
Router(config)# line vty 0 4 Router(config-line)# privilege level 15 Router(config-line)# login local Router(config-line)# transport input telnet Router(config-line)# transport input telnet ssh Router(config-line)# exit
```

(任意) ローカル ロギングをイネーブルにして、ログ モニタリング機能をサポートします。

```
Router(config)# logging buffered 51200 warning
```

要件

このドキュメントでは、Cisco ルータが完全に動作しており、Cisco CP で設定変更できるように設定されていることを想定しています。

Cisco CP の使用を開始する方法については、『[Cisco Configuration Professional 入門](#)』を参照してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

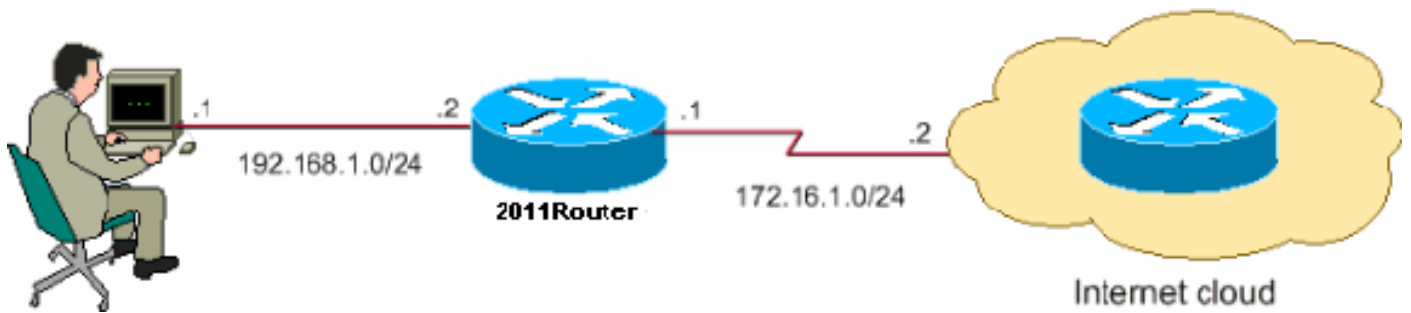
設定

このセクションでは、ネットワーク内にあるルータの基本的な設定を行うための情報を提供します。

注: このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。



注: この設定で使用している IP アドレス スキームは、インターネット上で正式にルーティング可能なものではありません。これらは、ラボ環境で使用された [RFC 1918](#) のアドレスです。

インターフェイスの設定

Cisco ルータのインターフェイスを設定するには、次の手順を実行します。

[Home] をクリックして、Cisco CP ホームページに移動します。

Cisco CP ホームページでは、ルータのハードウェアやソフトウェア、機能の可用性、および設定の要約などの情報が提供されています。

The screenshot shows the Cisco Configuration Professional (CCP) interface. The top navigation bar includes 'Home', 'Configure', and 'Monitor'. The main content area is titled 'Monitor > Router > Overview'. On the left, there is a sidebar with a search box and a list of navigation options. The main panel displays several status sections:

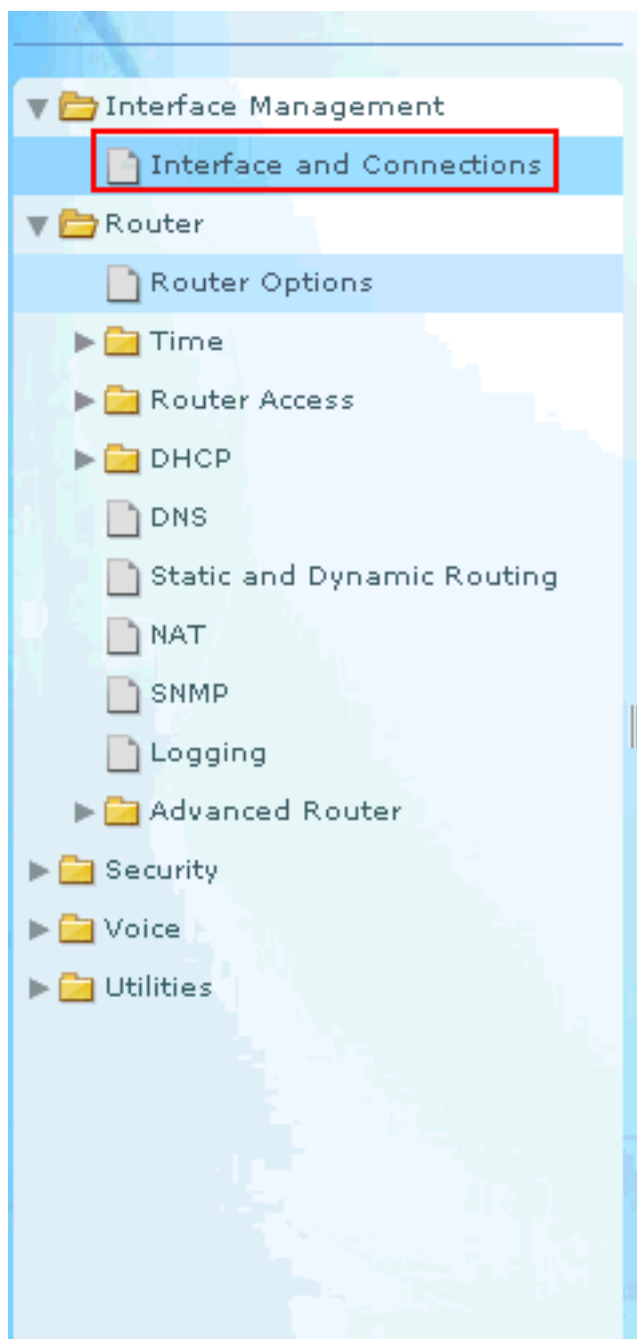
- Resource Status:** Shows CPU Usage at 8%, Memory Usage at 48%, and Flash Usage with 'Available(Total: flash:0M): 40%'.
- Interface Status:** A table showing the status of interfaces.

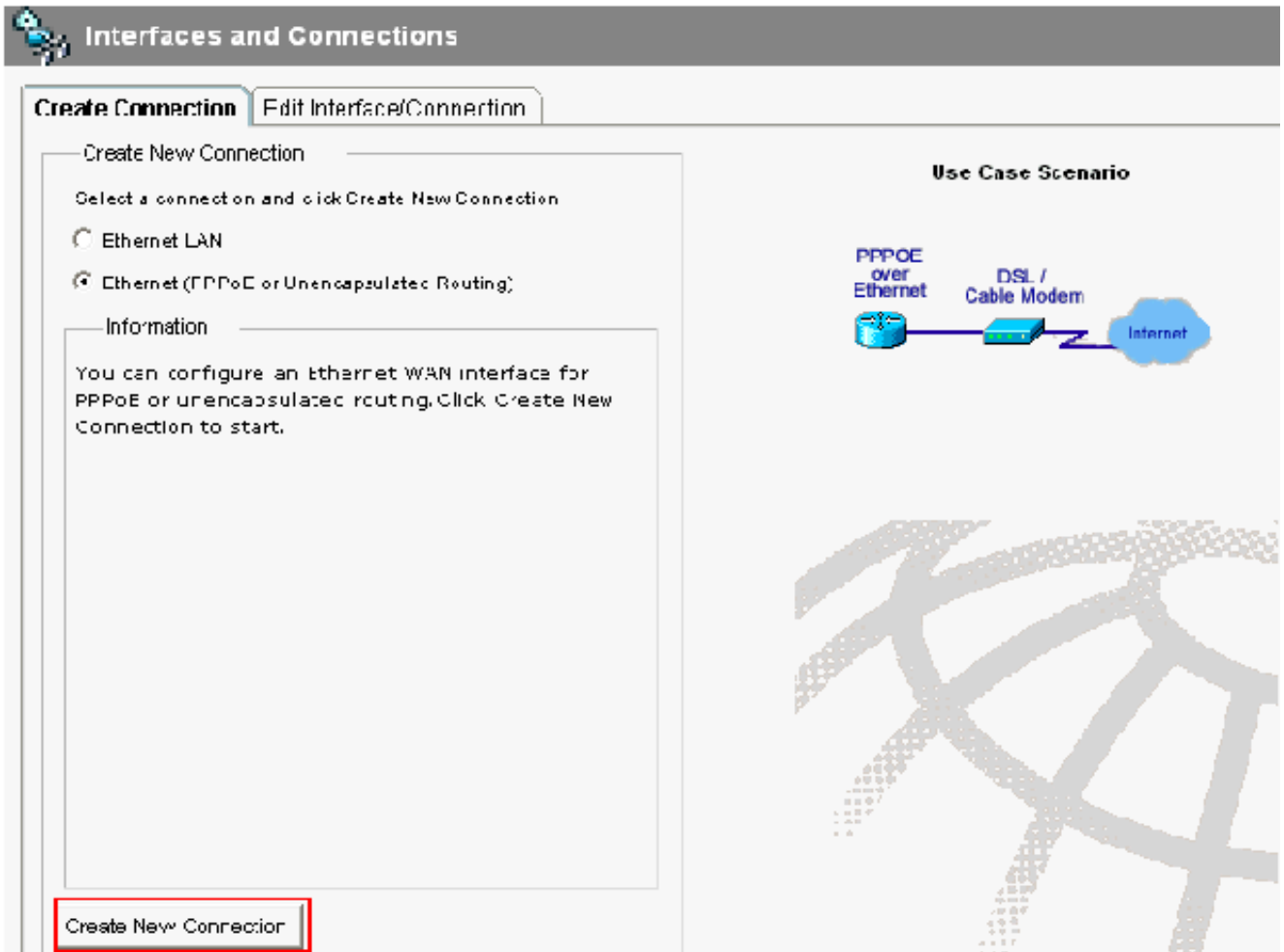
Interface	IP	Status	Bandwidth Usage	Description
FastEthernet0/1	192.168.1.1	Up	1 %	
FastEthernet0/0	no ip address	Down	0 %	
- Firewall Status:** Shows 'No. of Attempts Denied' as 0 and 'Firewall Log' as 'No. Configured'.
- QoS:** Shows 'No. of QoS Enabled Interfaces' as 0.

[Configure] > [Interface Management] > [Interfaces and Connections] > [Create Connection] の順に選択して、インターフェイスの WAN 接続を設定します。

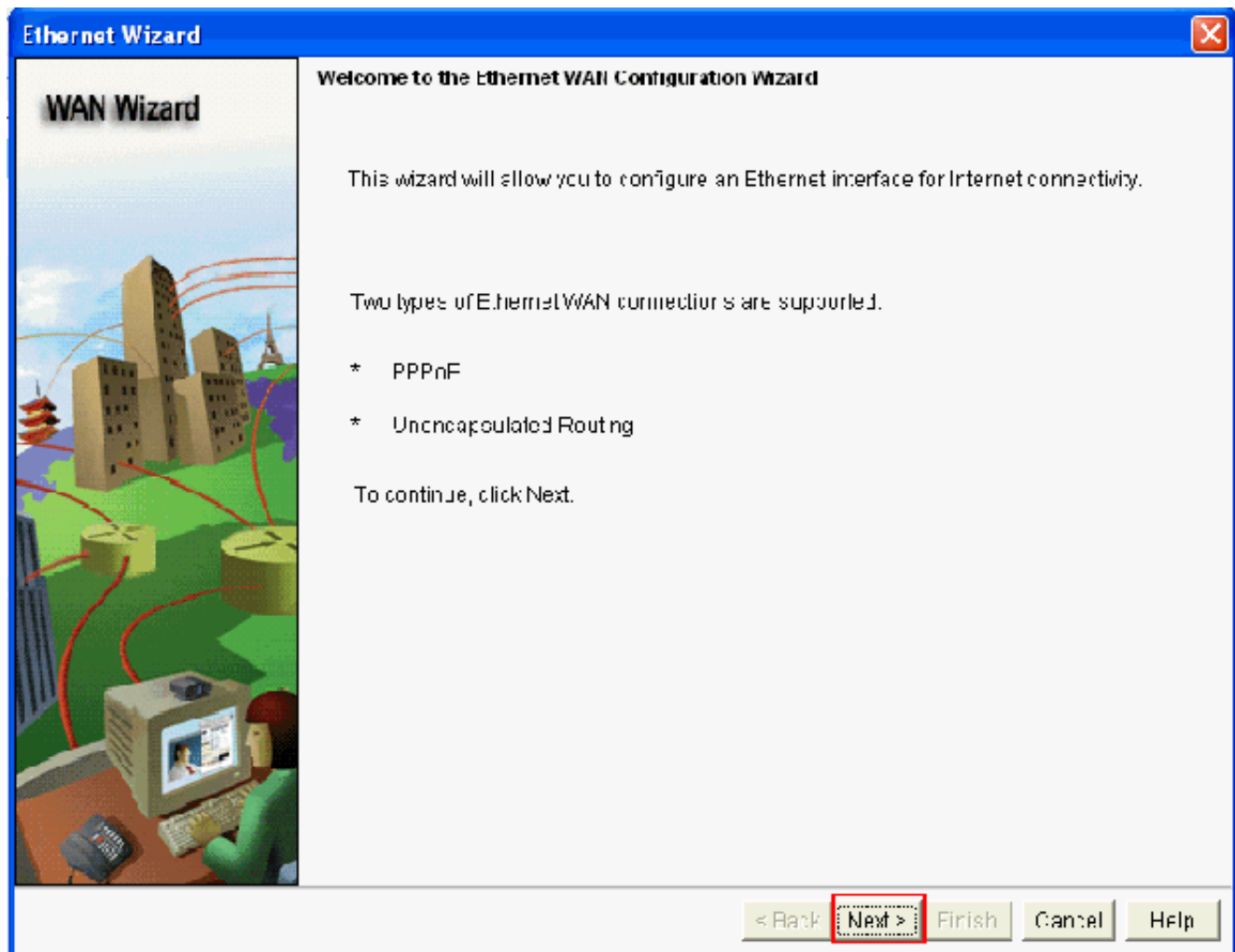
たとえば FastEthernet 0/1 の場合、[Ethernet] オプションを選択して [Create New Connection] をクリックします。

注: イーサネットなどの他のタイプのインターフェイスの場合、それぞれのインターフェイスタイプを選択し、[Create New Connection] をクリックして次に進みます。

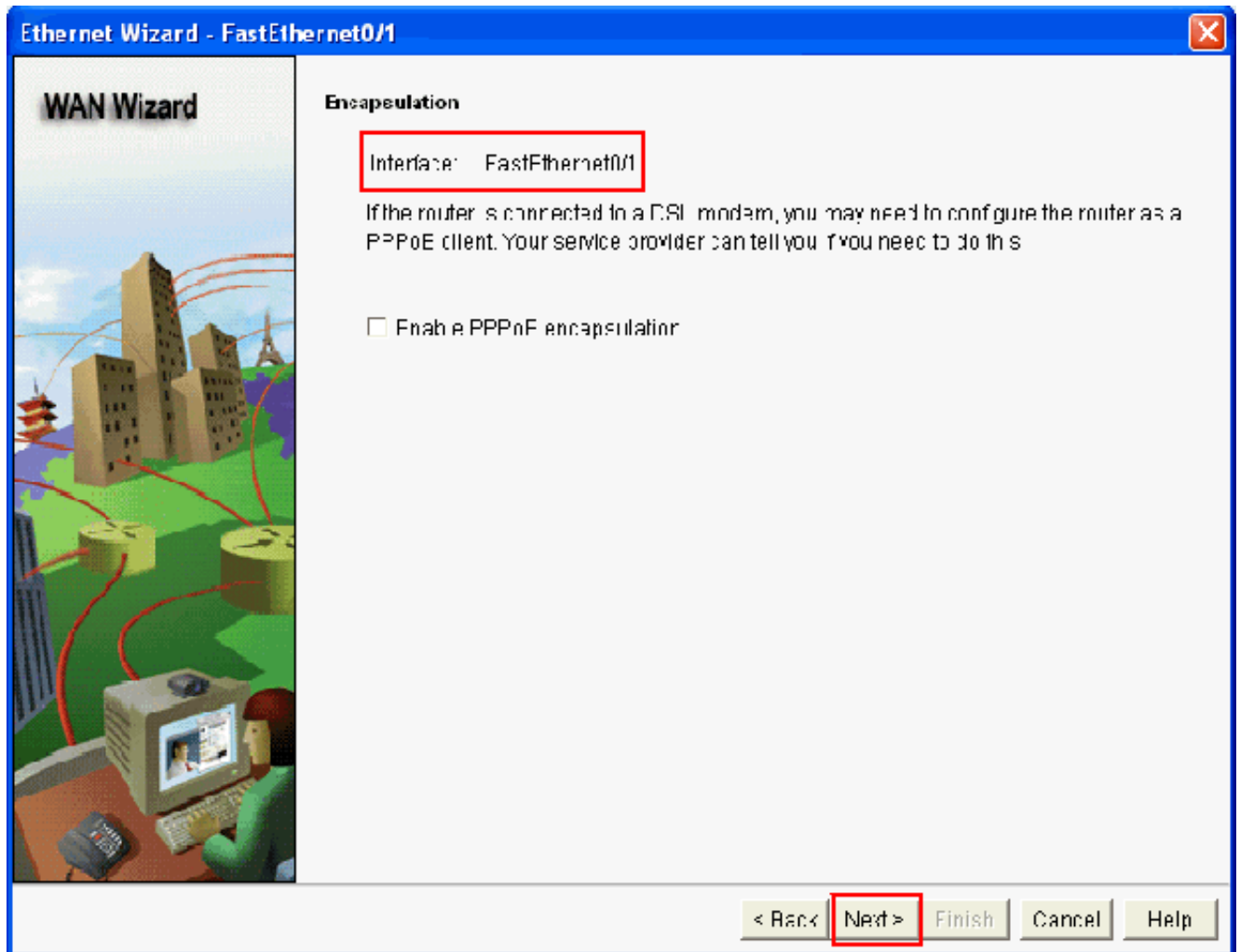




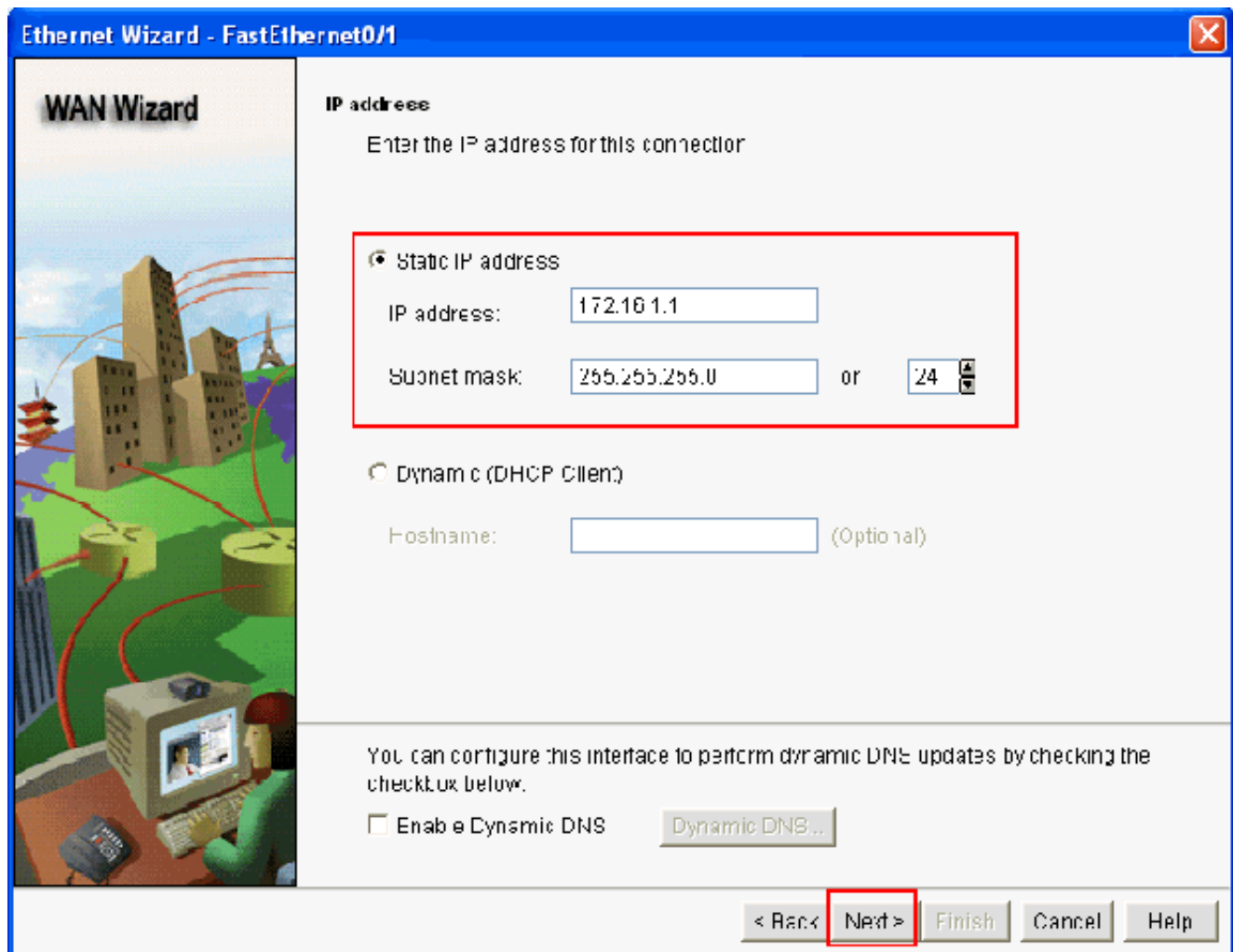
選択したインターフェイスが表示されたら、[Next] をクリックして次に進みます。



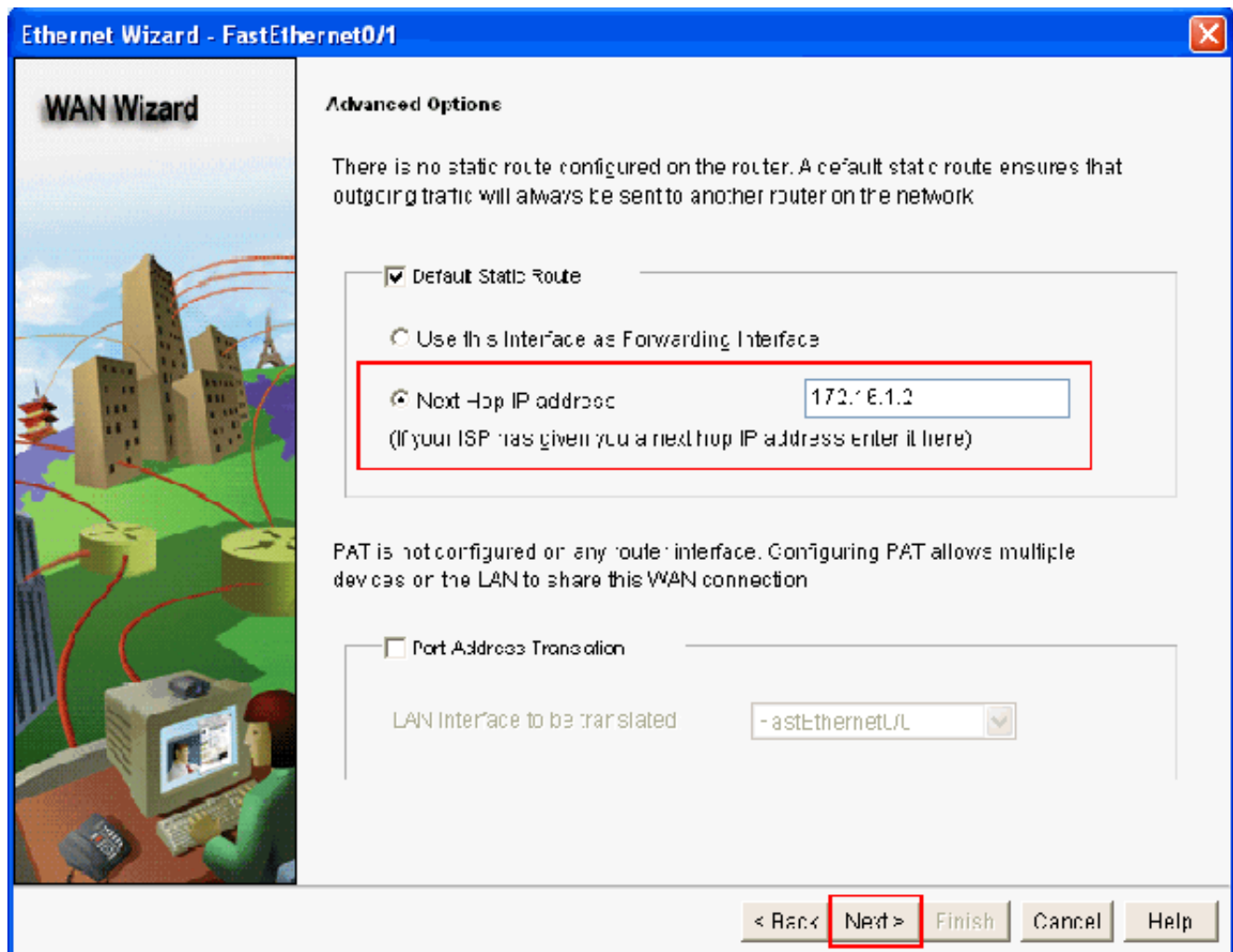
使用可能なインターフェイス オプションから (目的の) [FastEthernet 0/1] を選択し、[Next] をクリックします。



インターフェイスの固定 IP アドレスと対応するサブネット マスクを指定して、[Next] をクリックします。

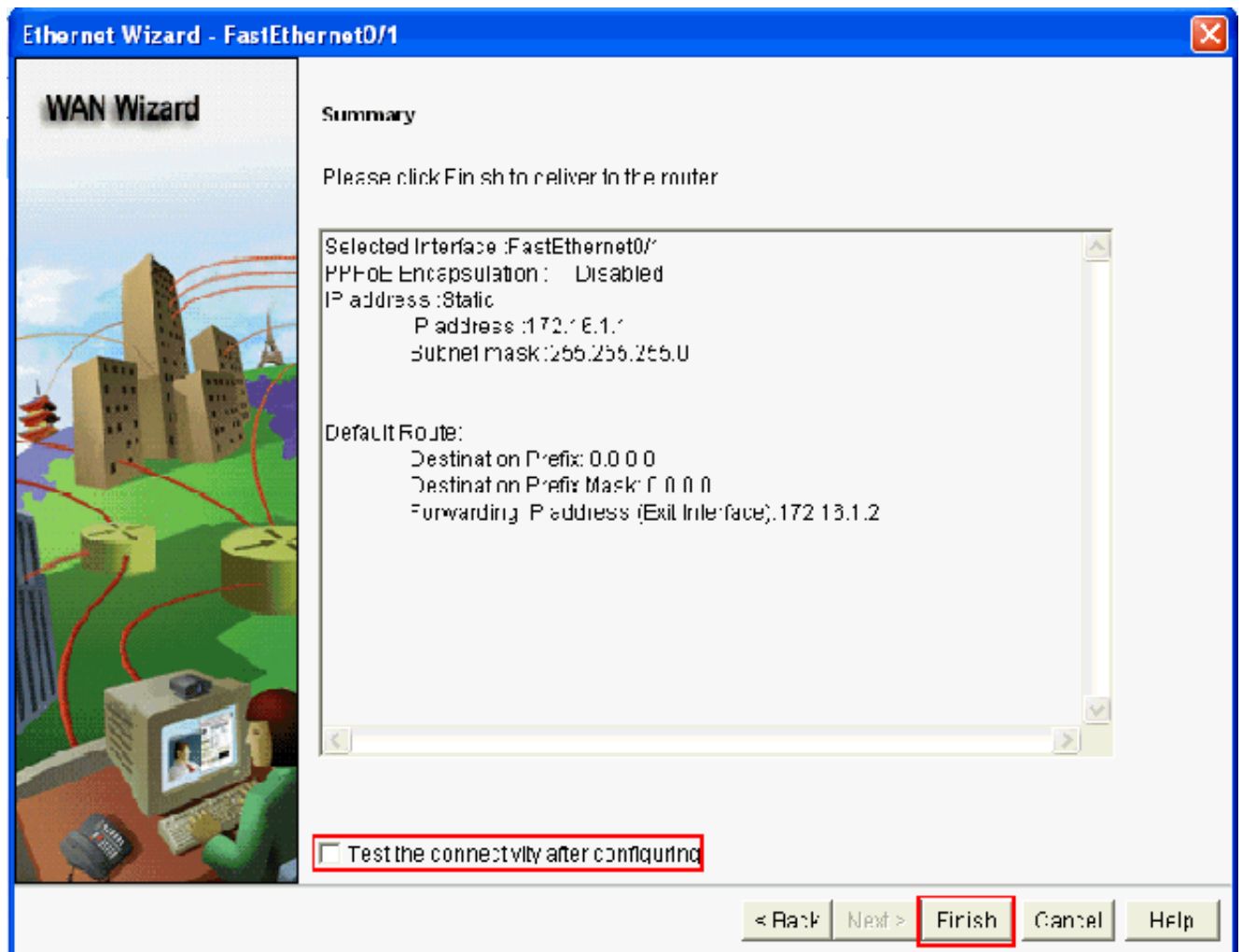


ISP から提供されるネクストホップ IP アドレス (ネットワーク ダイアグラムでは、172.16.1.2) などのオプション パラメータを使用してデフォルト ルーティングを設定し、[Next] をクリックします。

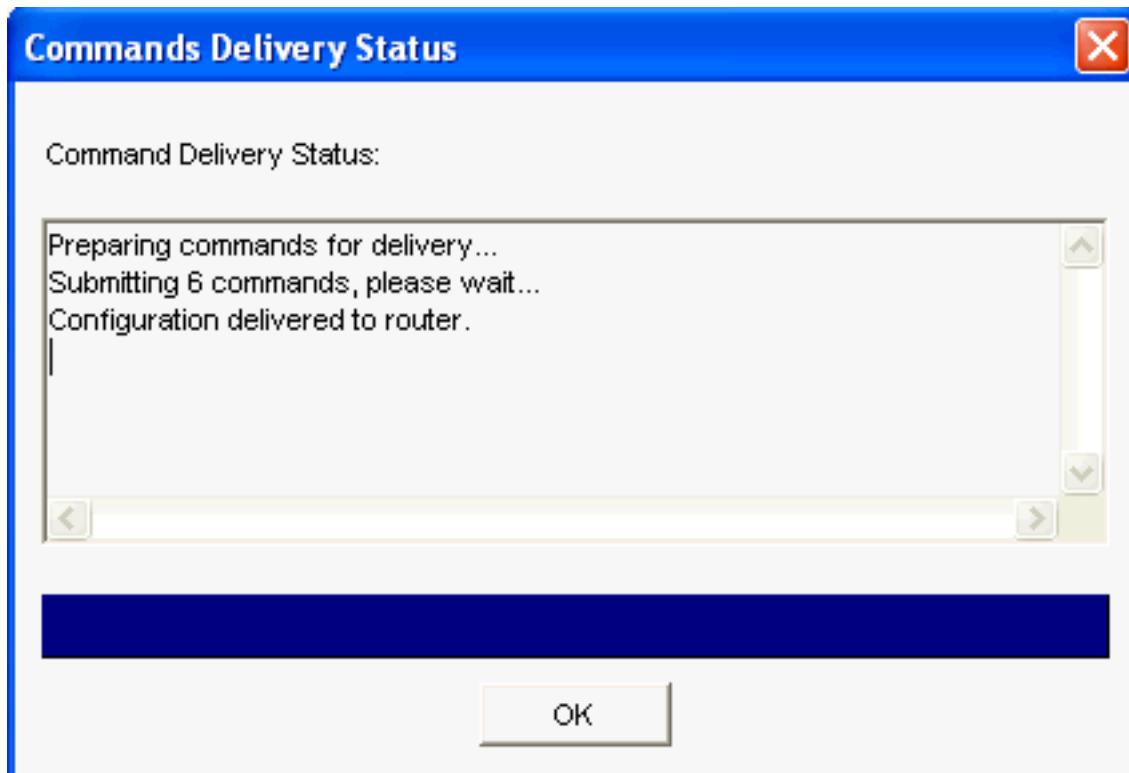


次のウィンドウが表示され、ユーザが行った設定の要約が表示されます。[Finish] をクリックします。

注: [Test the connectivity after configuring] の横にあるチェックボックスにチェックマークを入れると、設定の接続をチェックできます。これは、使用可能なオプションの機能です。

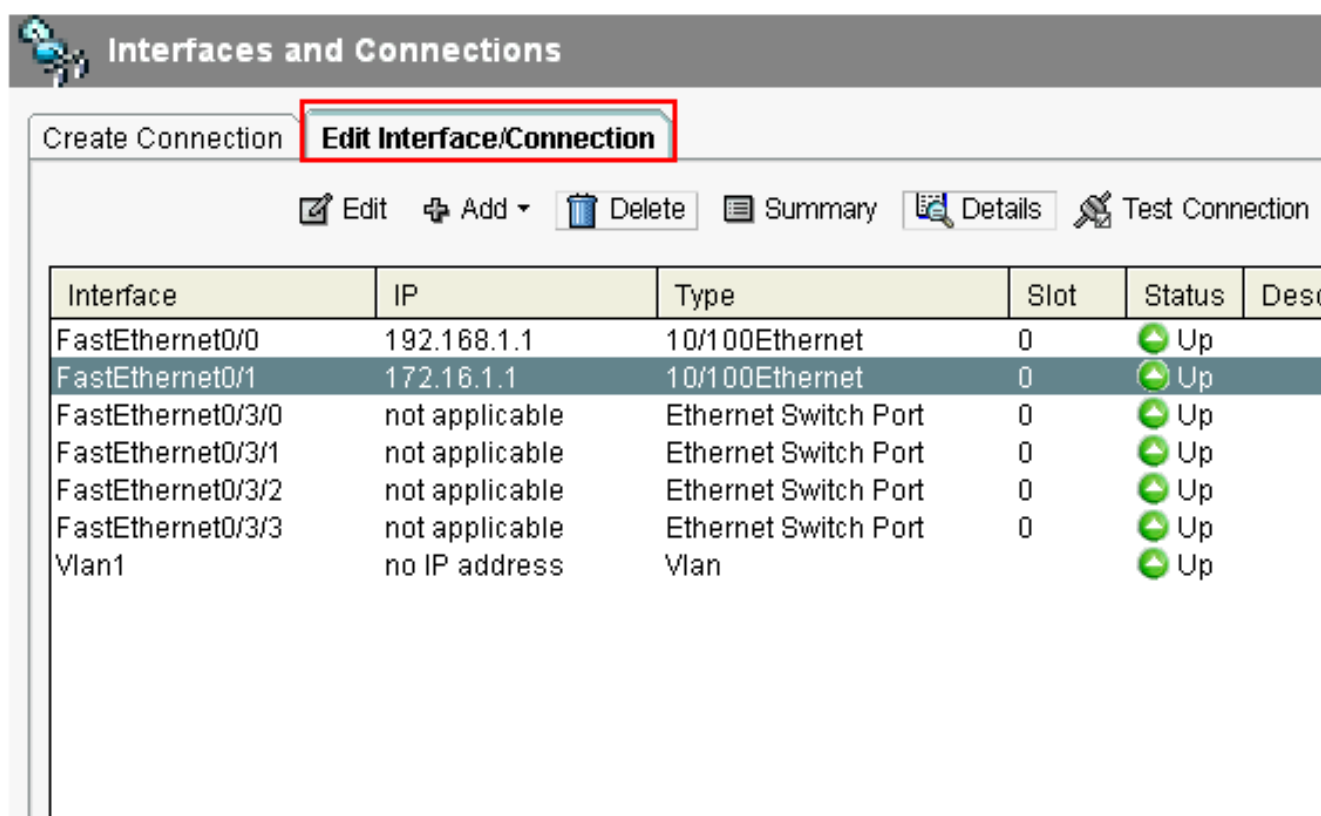
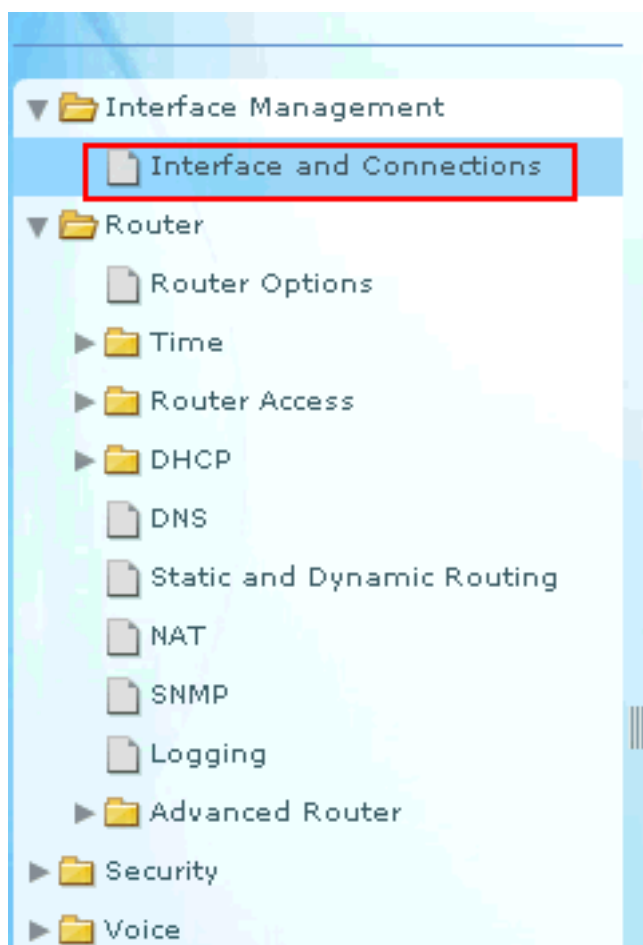


次のウィンドウが表示され、ルータへのコマンド転送状況が表示されます。非互換コマンドや非サポート機能によりコマンド転送が失敗した場合は、エラーが表示されます。

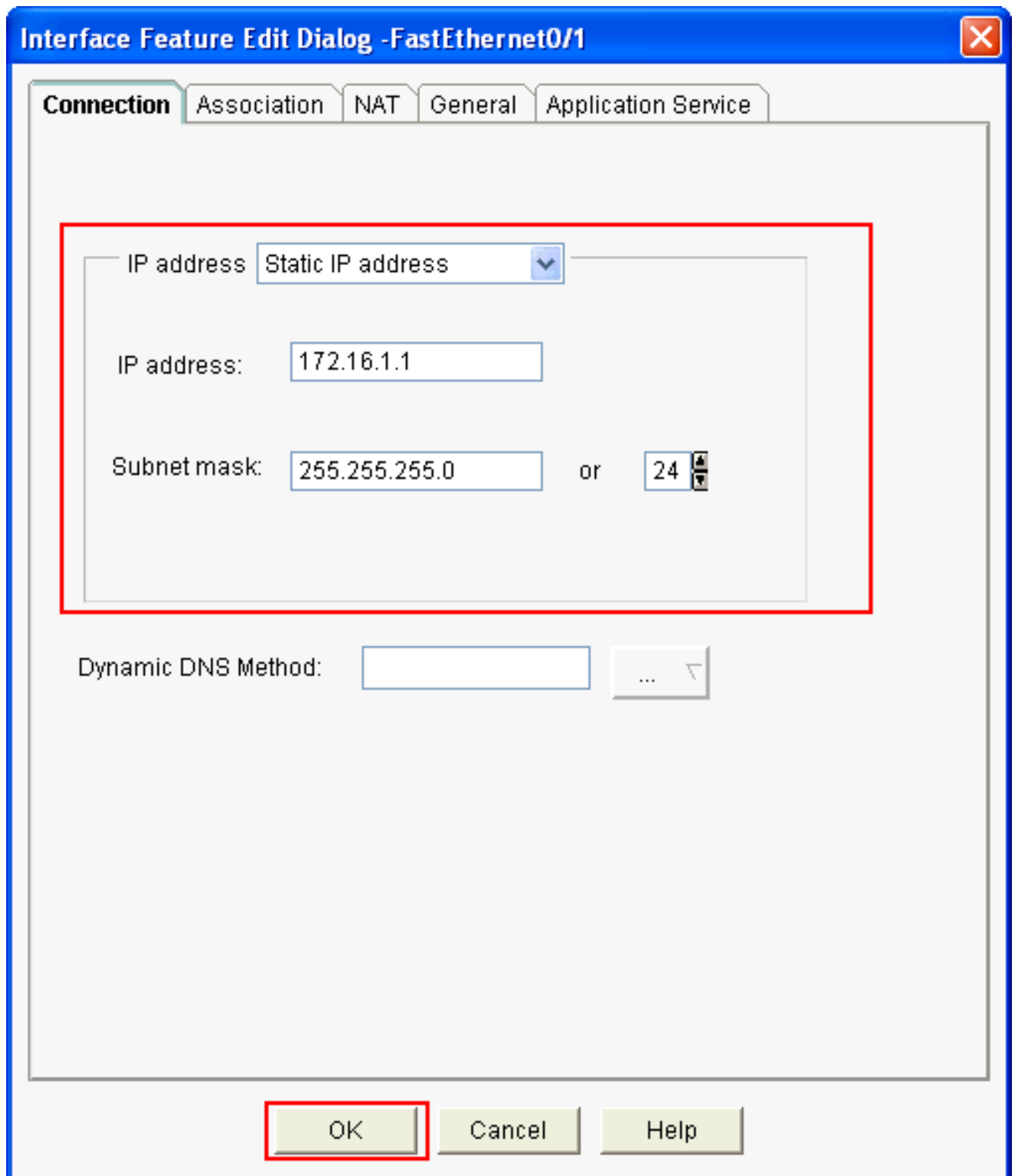


[Configure] > [Interface Management] > [Interfaces and Connections] > [Edit

Interfaces/Connections] の順に選択して、各種のインターフェイスを追加/編集/削除します。



インターフェイスの設定を編集または変更するには、変更するインターフェイスを強調表示して [Edit] をクリックします。ここでは既存の固定 IP アドレスを変更できます。

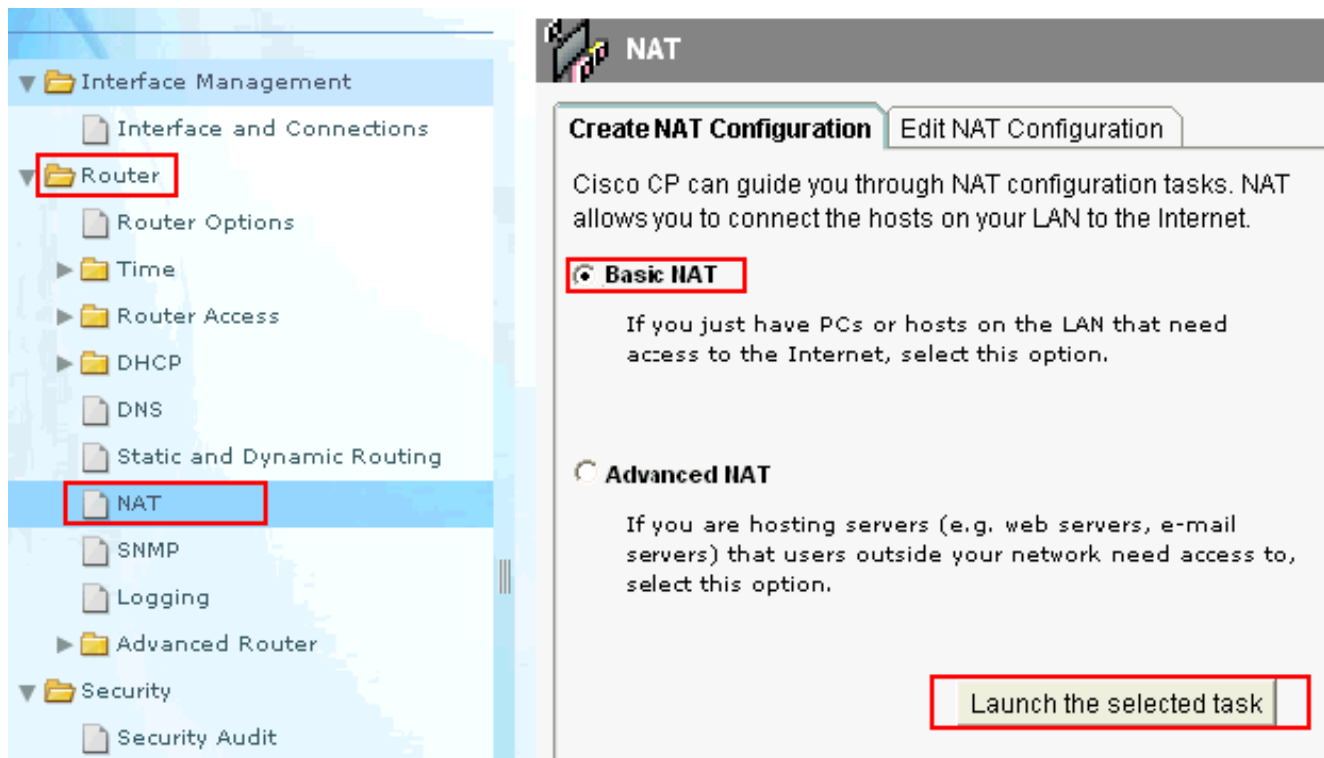


NAT の設定

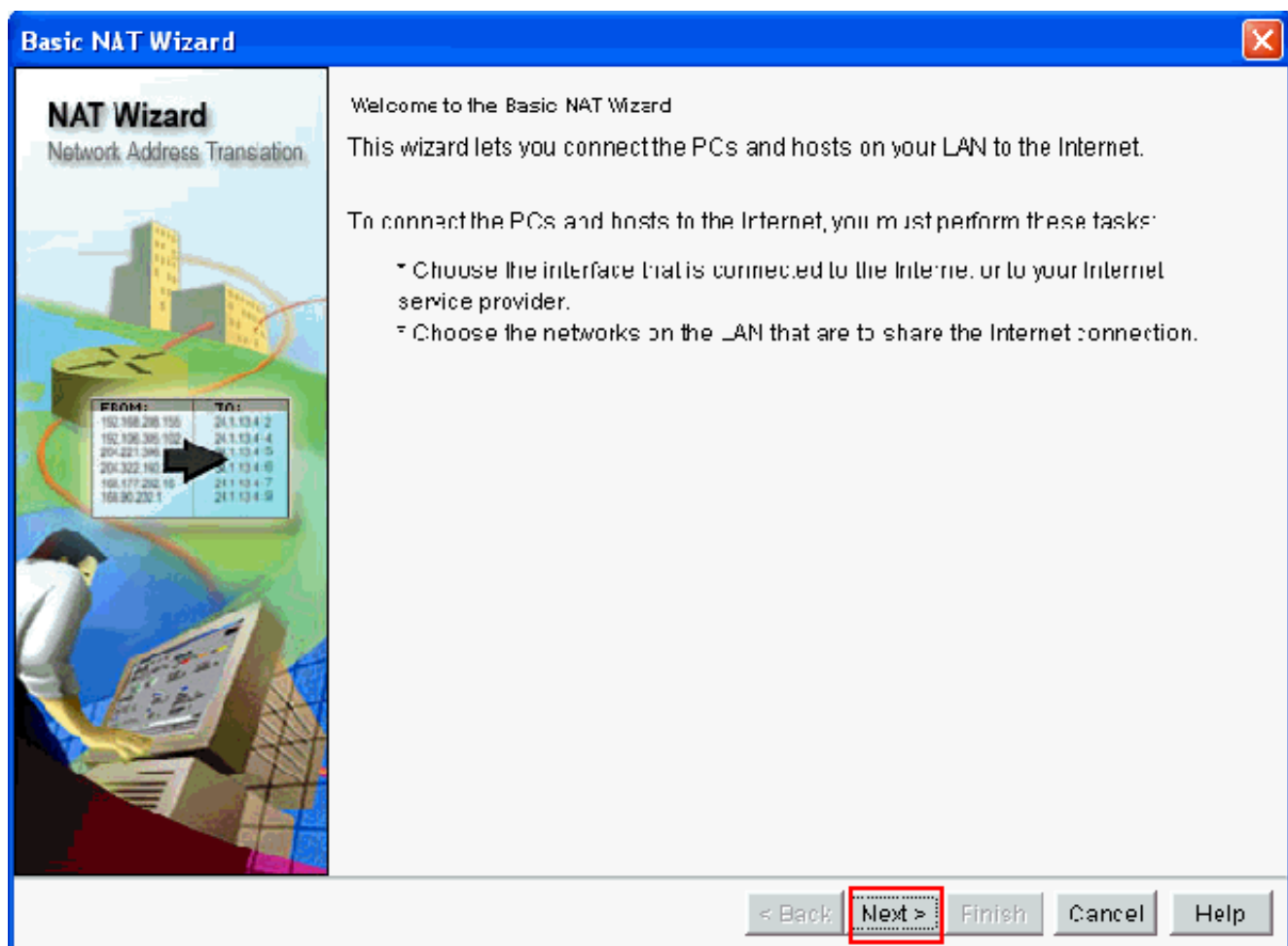
ダイナミック NAT の設定

Cisco ルータでダイナミック NAT を設定するには、次の手順を実行します。

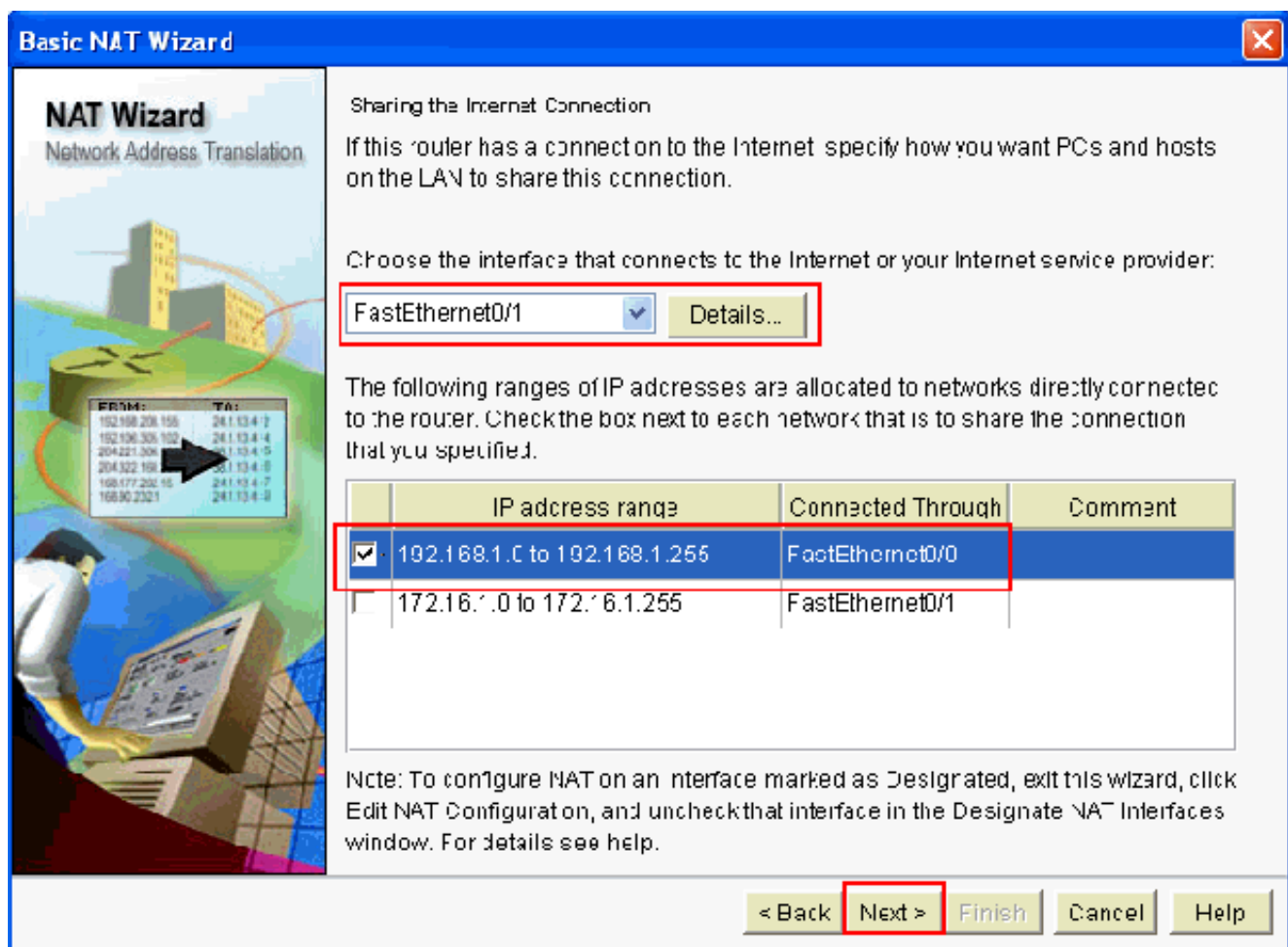
[Configure] > [Router] > [NAT] > [Basic NAT] の順に選択し、[Launch the selected task] をクリックして、基本的な NAT 設定を行います。



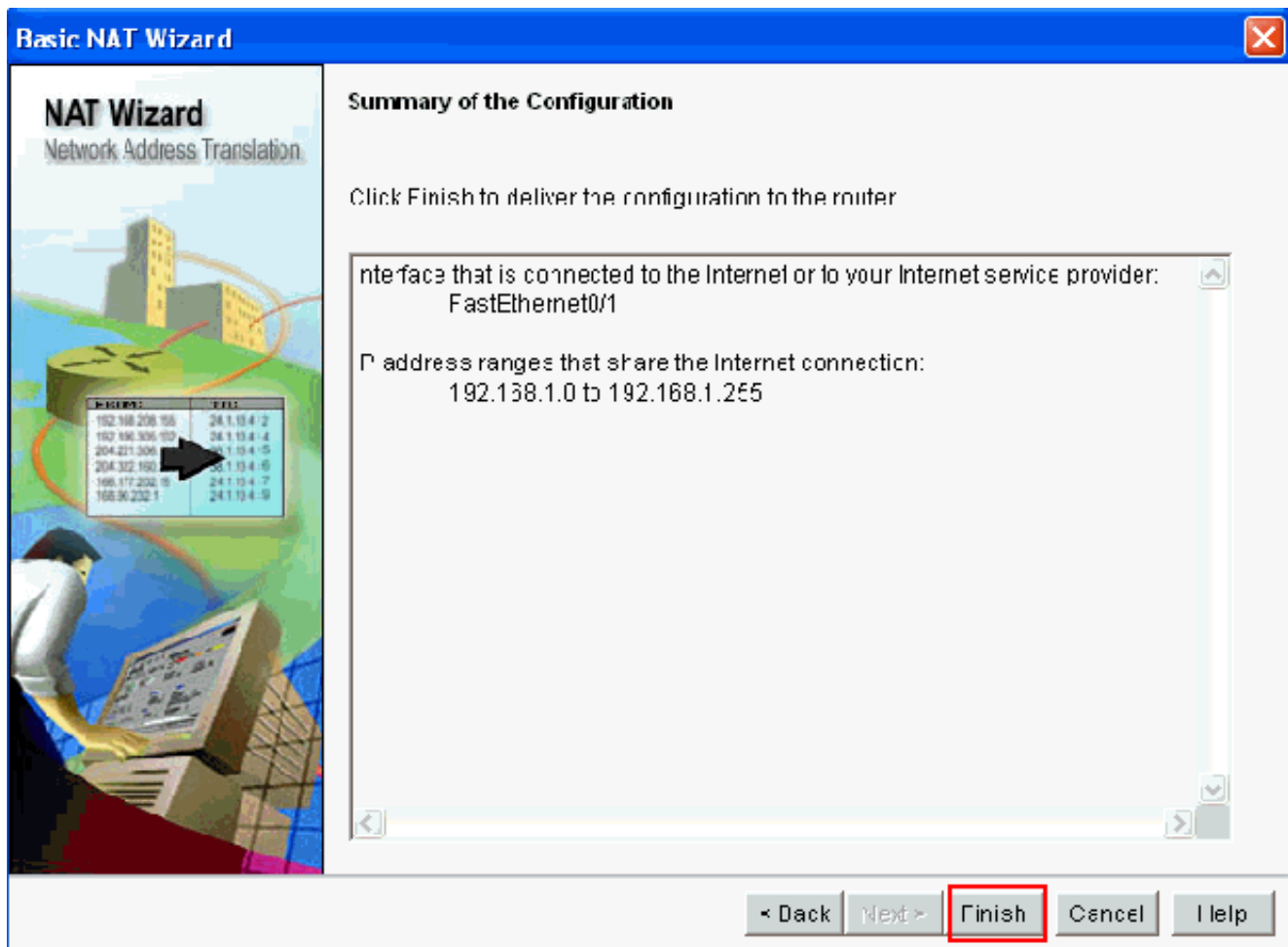
[Next] をクリックします。



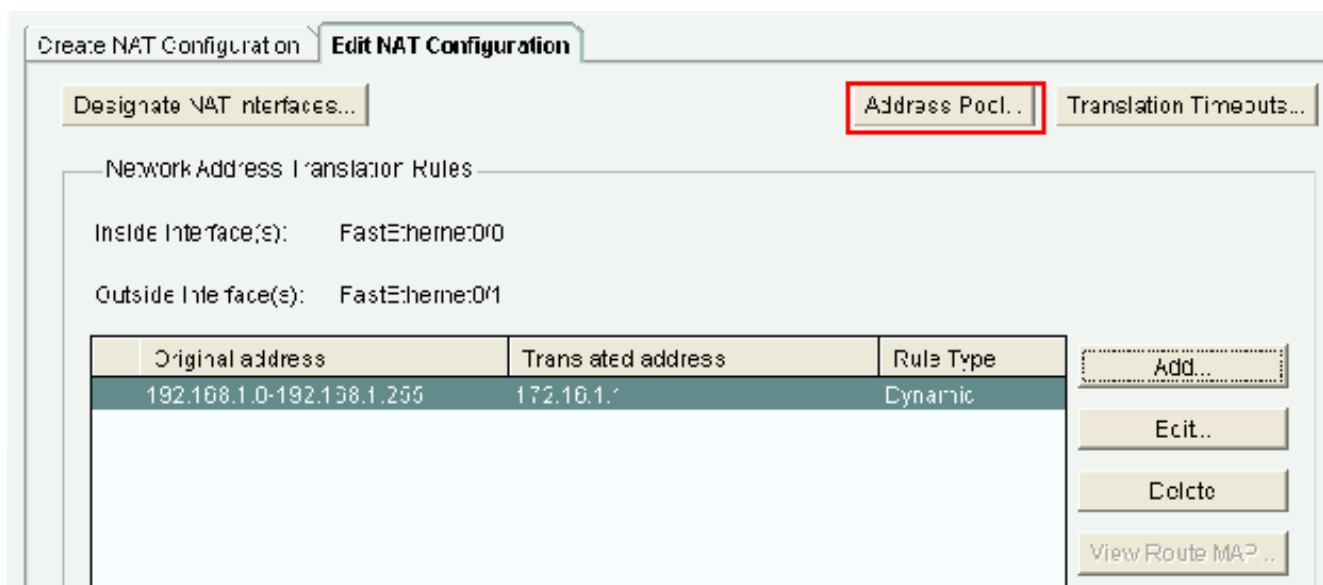
インターネットまたは ISP に接続するインターフェイスを選択し、インターネット アクセスで共有する IP アドレス範囲を選択します。この情報を選択したら、次のように [Next] をクリックします。



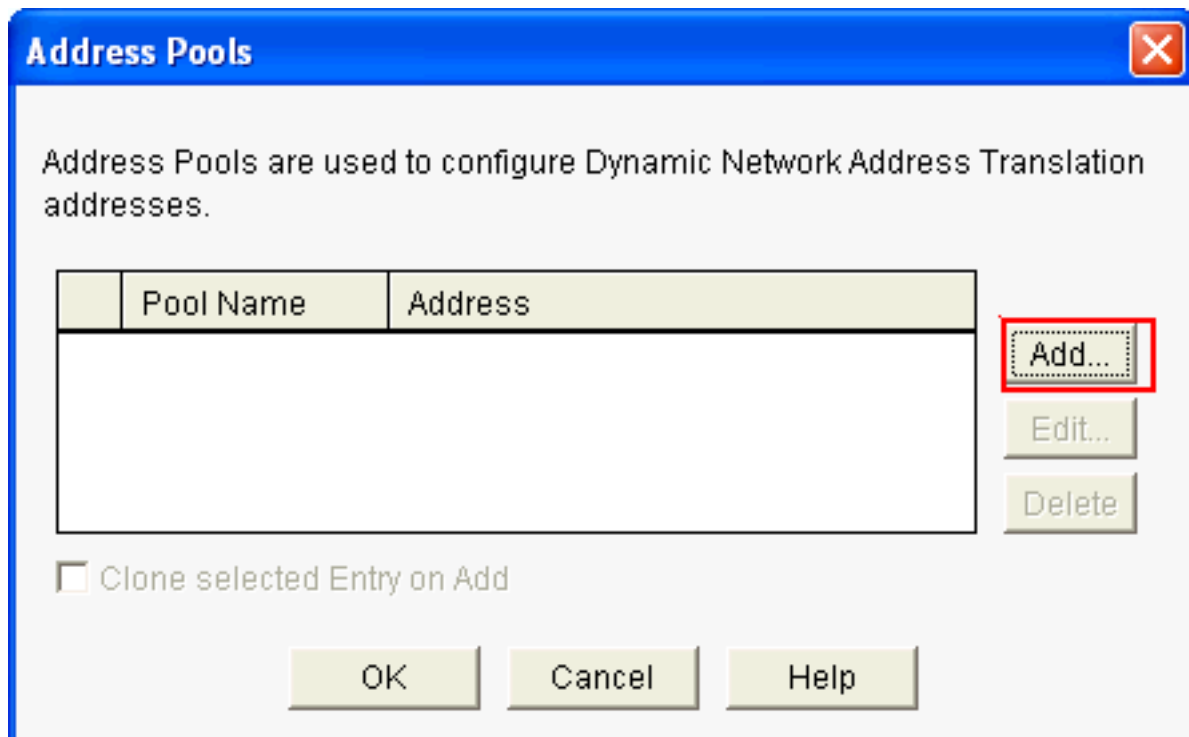
次のウィンドウが表示され、ユーザが行った設定の要約が表示されます。 [Finish] をクリックします。



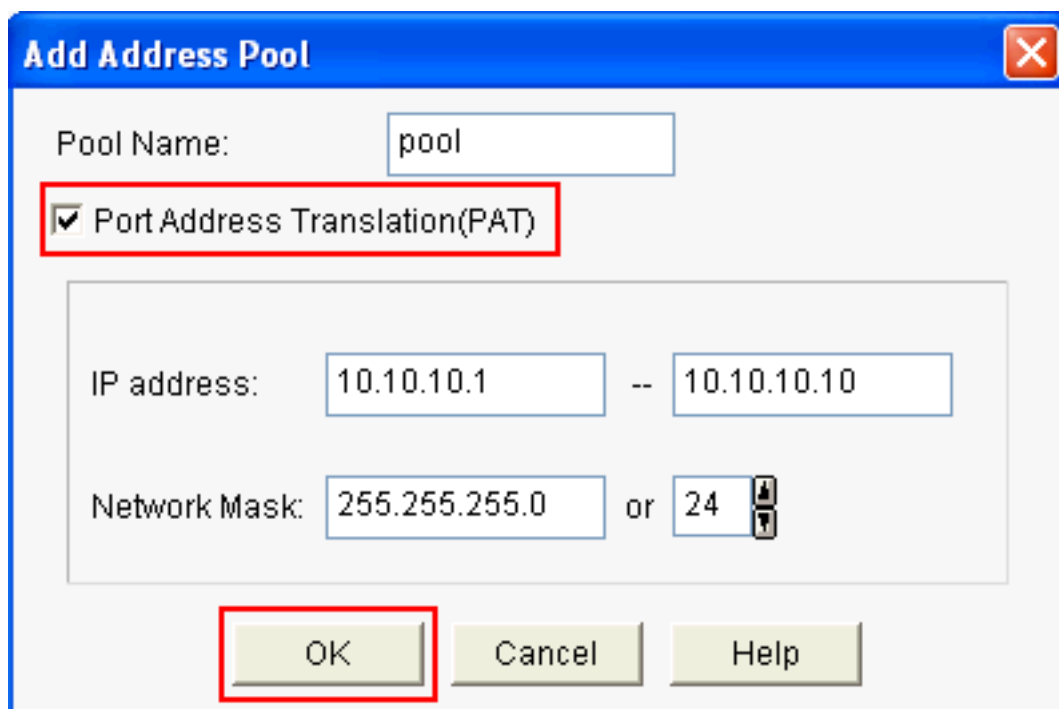
Edit NAT Configuration ウィンドウが表示され、設定されたダイナミック NAT 設定と、オーバーロード変換 (PAT) された変換後の IP アドレスが表示されます。ダイナミック NAT にアドレスプールを設定する場合は、[Address Pool] をクリックします。



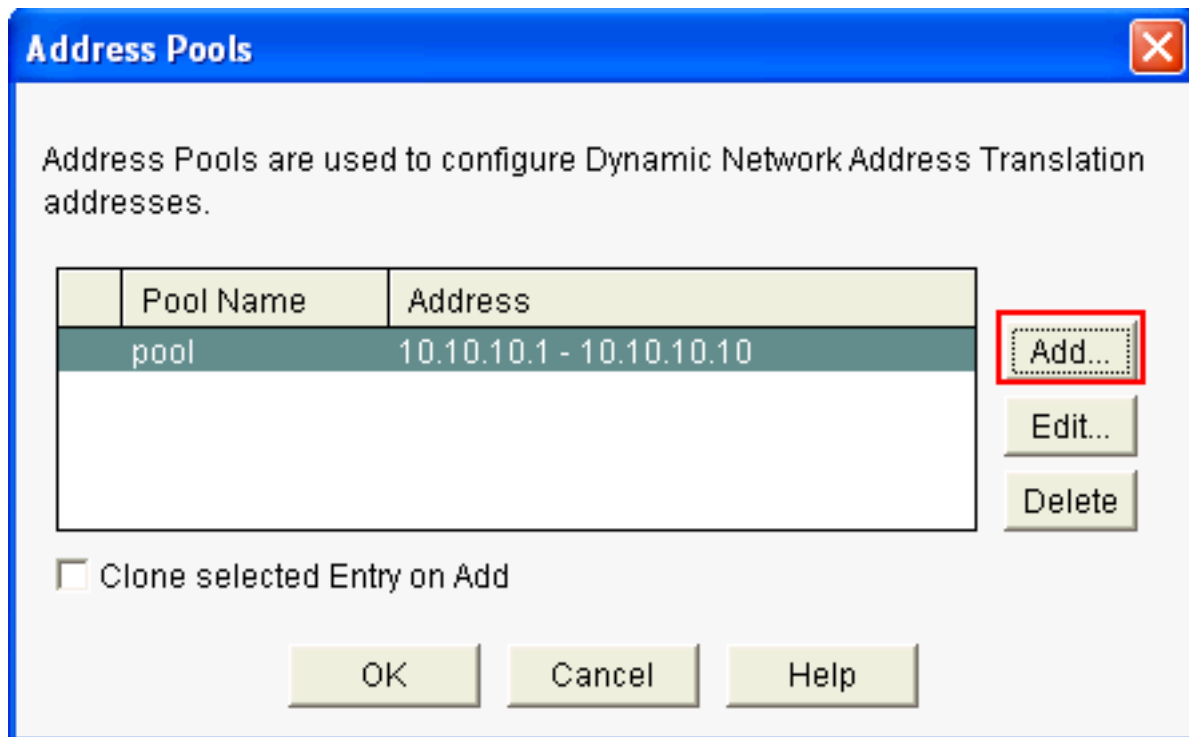
[Add] をクリックします。



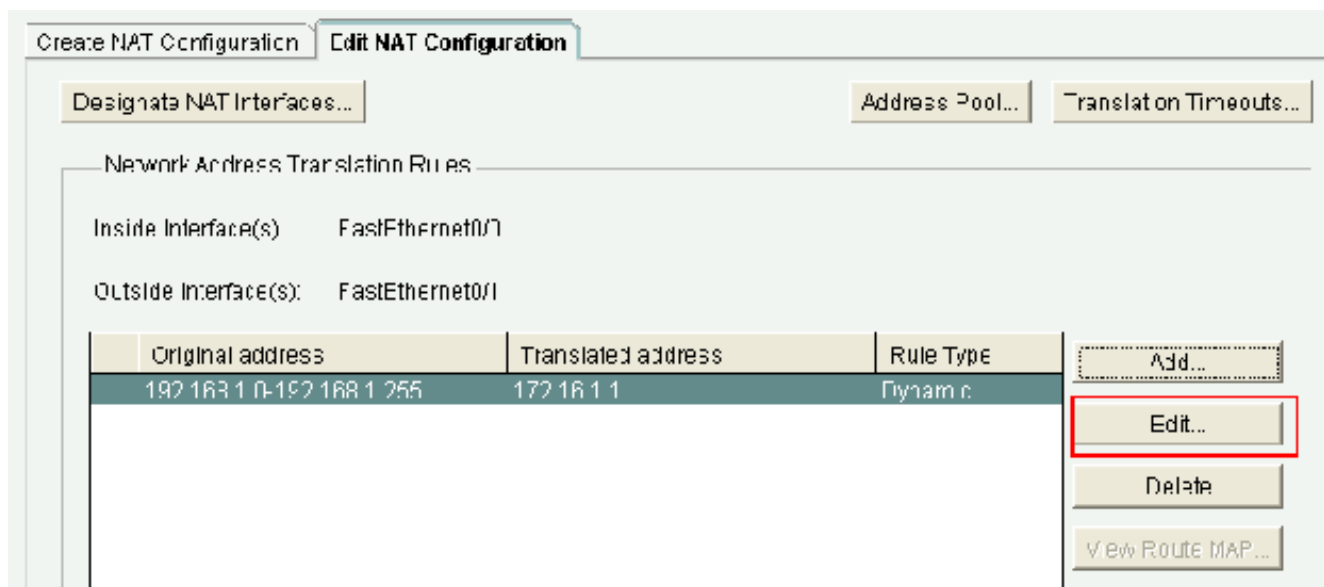
ここでは、プール名、IP アドレス範囲、ネットマスクなどの情報を指定します。プール内のほとんどのアドレスが割り当てられ、IP アドレスプールをほぼ使い果たしてしまうことがあります。このような場合には、PAT を使用して 1 つの IP アドレスで複数の IP アドレス要求に対応することができます。アドレスプールが枯渇しそうになったときにルータで PAT が使用されるようにするには、Port Address Translation (PAT) にチェックマークを付けます。[OK] をクリックします。



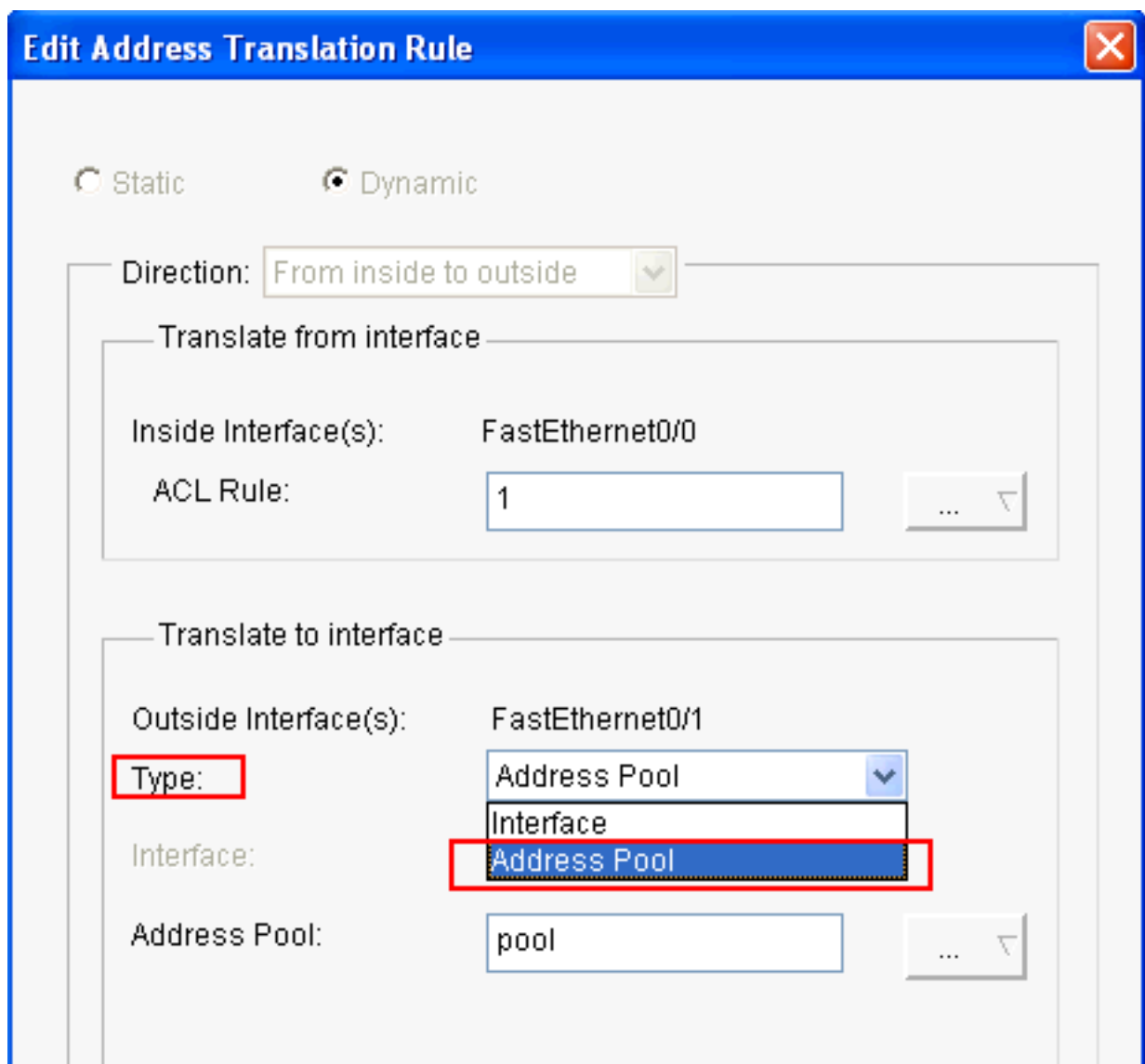
[Add] をクリックします。



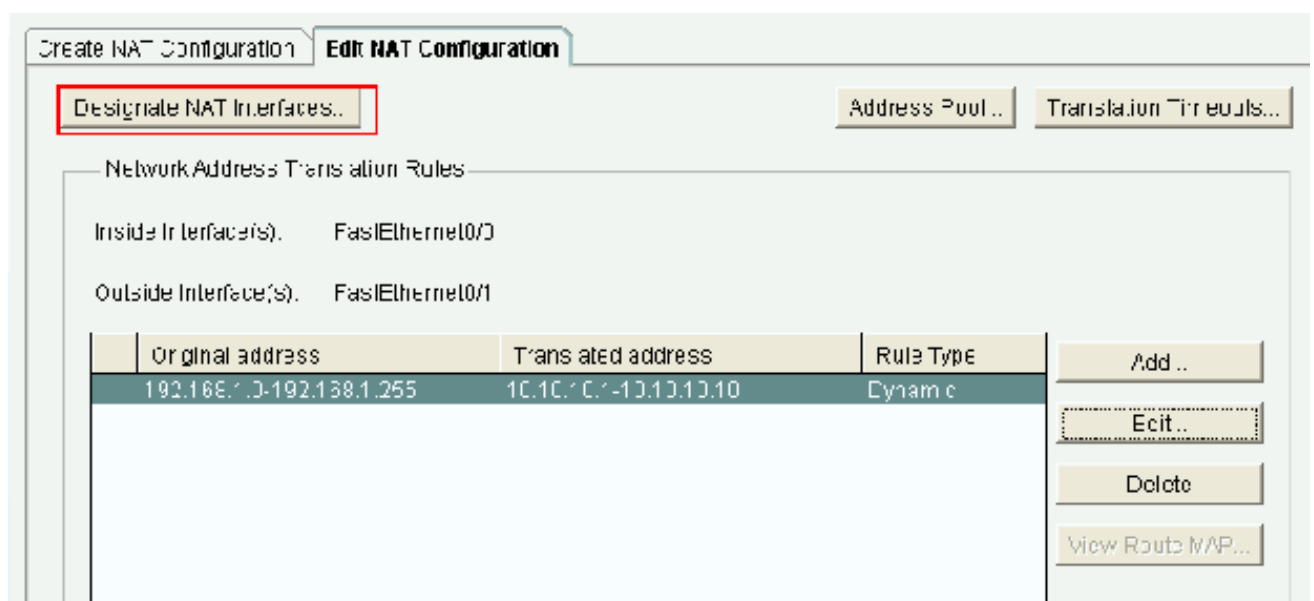
[Edit] をクリックします。



[Type] フィールドで [Address Pool] を選択し、[Address Pool] に「pool」という名前を入力して、[OK] をクリックします。

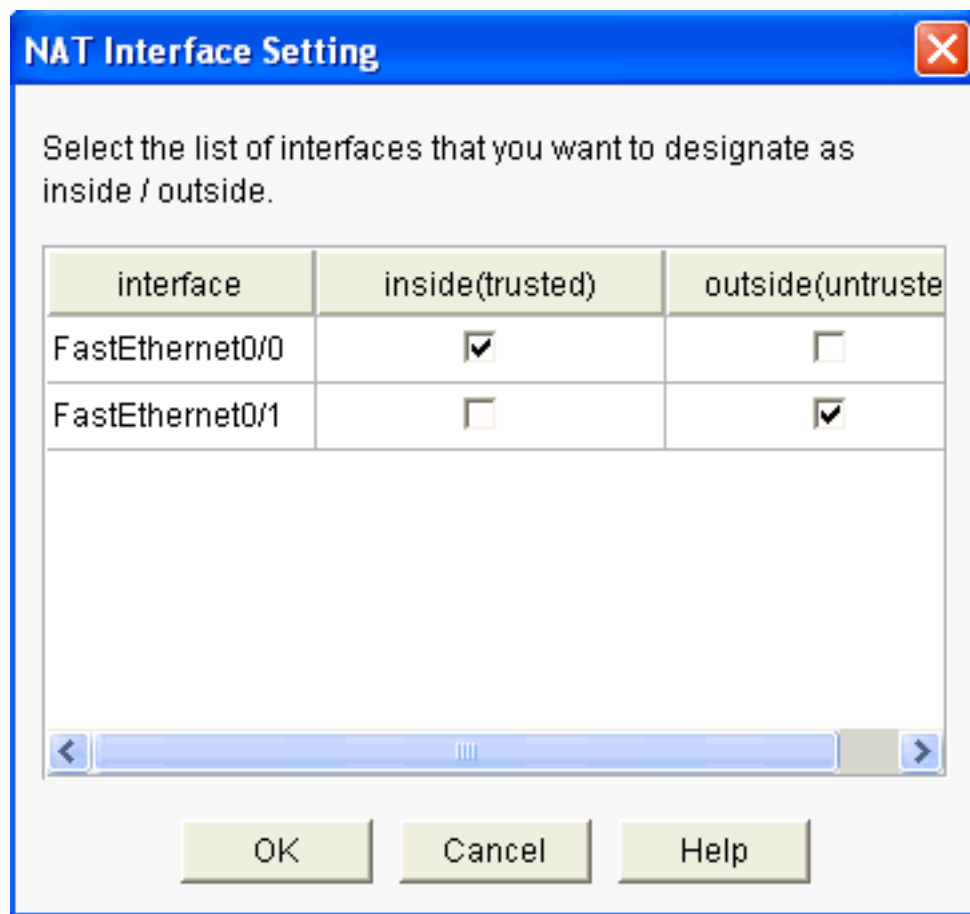


次のウィンドウが表示され、アドレスプールを使用したダイナミック NAT の設定が表示されます。Designate NAT Interfaces をクリックします。



次のウィンドウを使用して、NAT 変換で使用する内部インターフェイスと外部インターフェイスを指定します。NAT では変換ルールを解釈する際に、内部と外部の指定を参照します。これは、変換が内部から外部、外部から内部の両方向で行われるためです。

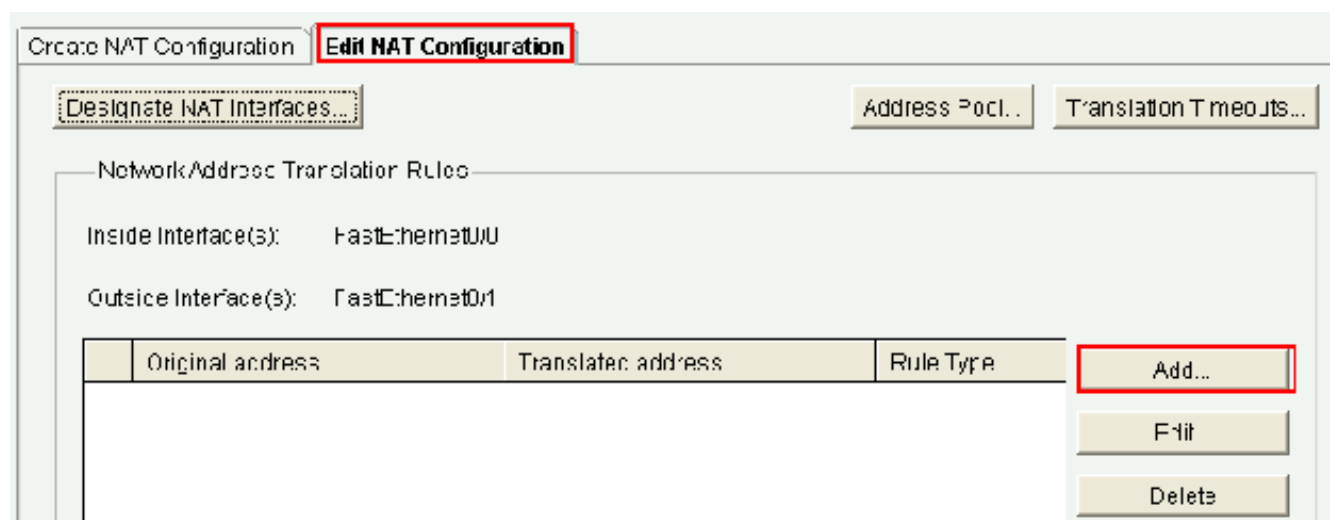
指定すると、すべての NAT 変換ルールでこれらのインターフェイスが使用されます。指定したインターフェイスは、メインの NAT ウィンドウの変換ルール リストの上部に表示されます。



スタティック NAT の設定

Cisco ルータでスタティック NAT を設定するには、次の手順を実行します。

[Configure] > [Router] > [NAT] > [Edit NAT Configuration] の順に選択して [Add] をクリックし、スタティック NAT を設定します。



[Direction] を [From inside to outside] または [From outside to inside] から選択し、変換する

内部 IP アドレスを [Translate from Interface] の下に指定します。 [Translate to Interface] エリアで、 [Type] を選択します。

変換元のアドレスを [IP Address] フィールドで指定した IP アドレスに変換する場合は、 [IP Address] を選択します。

変換元のアドレスで、ルータのインターフェイスのアドレスが使用されるようにするには、 [Interface] を選択します。 Translate from のアドレスが、インターフェイスフィールドで指定したインターフェイスに割り当てられている IP アドレスに変換されます。

変換に内部デバイスのポート情報を含めるには、 [Redirect Port] にチェックマークを入れます。 これにより、各デバイスに指定されたポートが同一でない限り、複数のデバイスで1つのパブリック IP アドレスを使用できるようになります。 この変換先アドレスの各ポートマッピングについて、エントリを作成する必要があります。 TCP ポート番号の場合は [TCP]、UDP ポート番号の場合は [UDP] をクリックします。 Original Port フィールドに、内部デバイスのポート番号を入力します。 Translated Port フィールドに、ルータがこの変換で使用するポート番号を入力します。 「[インターネットから内部デバイスにアクセスできるようにする場合](#)」セクション (『[ネットワークアドレス変換の設定](#) : 『[内部デバイスのアクセスにインターネットを許可](#)』を参照してください)。

Add Address Translation Rule ✕

Static Dynamic

Direction: From inside to outside ▾

Translate from interface

Inside Interface(s): FastEthernet0/0
IP address: 10.10.10.1
Network Mask(optional): or

Translate to interface

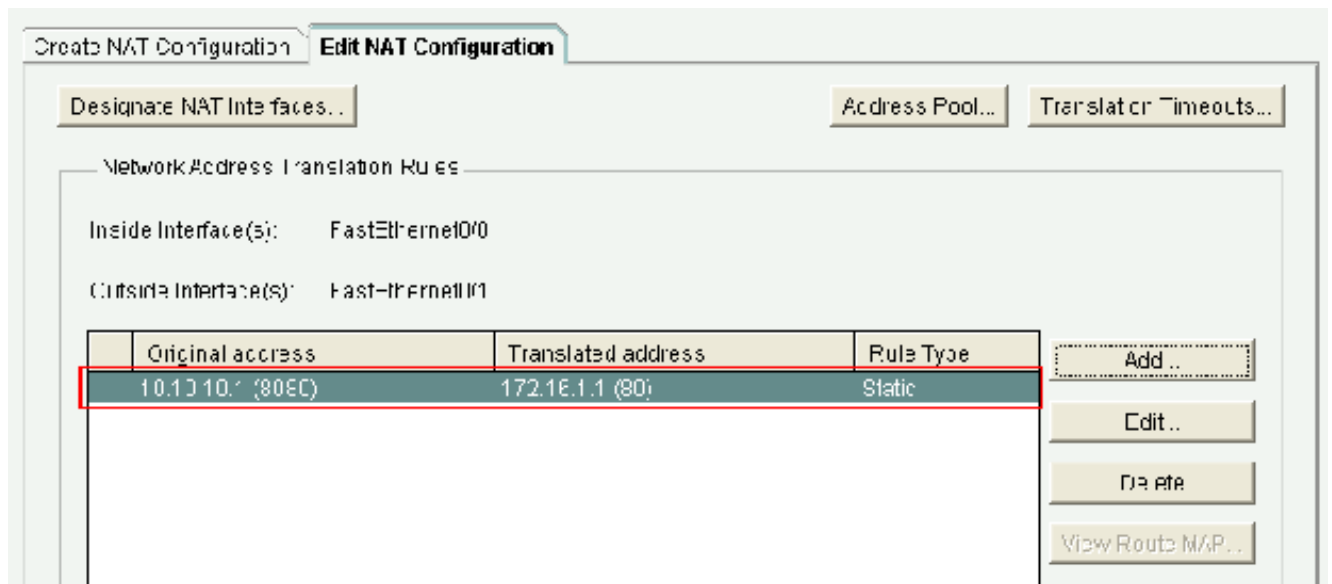
Outside Interface(s): FastEthernet0/1
Type: IP address ▾
Interface: FastEthernet0/0 ▾
IP address: 172.16.1.1

Redirect Port

TCP UDP

Original Port: 8080 Translated Port: 80

次のウィンドウに、ポートリダイレクトを有効にしたスタティック NAT の設定が表示されます。



ルーティングの設定

スタティック ルーティングの設定

Cisco ルータでスタティック ルーティングを設定するには、次の手順を実行します。

[Configure] > [Router] > [Static and Dynamic Routing] の順に選択して [Add] をクリックし、スタティック ルーティングを設定します。



宛先ネットワークアドレスとマスクを入力し、発信インターフェイスまたはネクストホップ IP アドレスのいずれかを選択します。

Add IP Static Route [X]

Destination Network

Prefix: 10.1.1.0
 Prefix Mask: 255.255.255.0
 Make this as the default route

Forwarding(Next Hop)

Interface: FastEthernet0/0
 IP Address: 172.16.1.2

Optional

Distance metric for this route: 1
 Permanent route

OK Cancel Help

次のウィンドウに、10.1.1.0 ネットワークへのスタティック ルートが表示されています。ネクストホップ IP アドレスは 172.16.1.2 です。

Static Routing [Add...] [Edit...] [Delete] [Delete All]

Destination Network		Forwarding	Optional		
Prefix	Prefix Mask	Interface or IP address	Distance	Permanent route	Track
10.1.1.0	255.255.255.0	172.16.1.2	1	No	None

ダイナミック ルーティングの設定

Cisco ルータでダイナミック ルーティングを設定するには、次の手順を実行します。

[Configure] > [Router] > [Static and Dynamic Routing] の順に選択します。

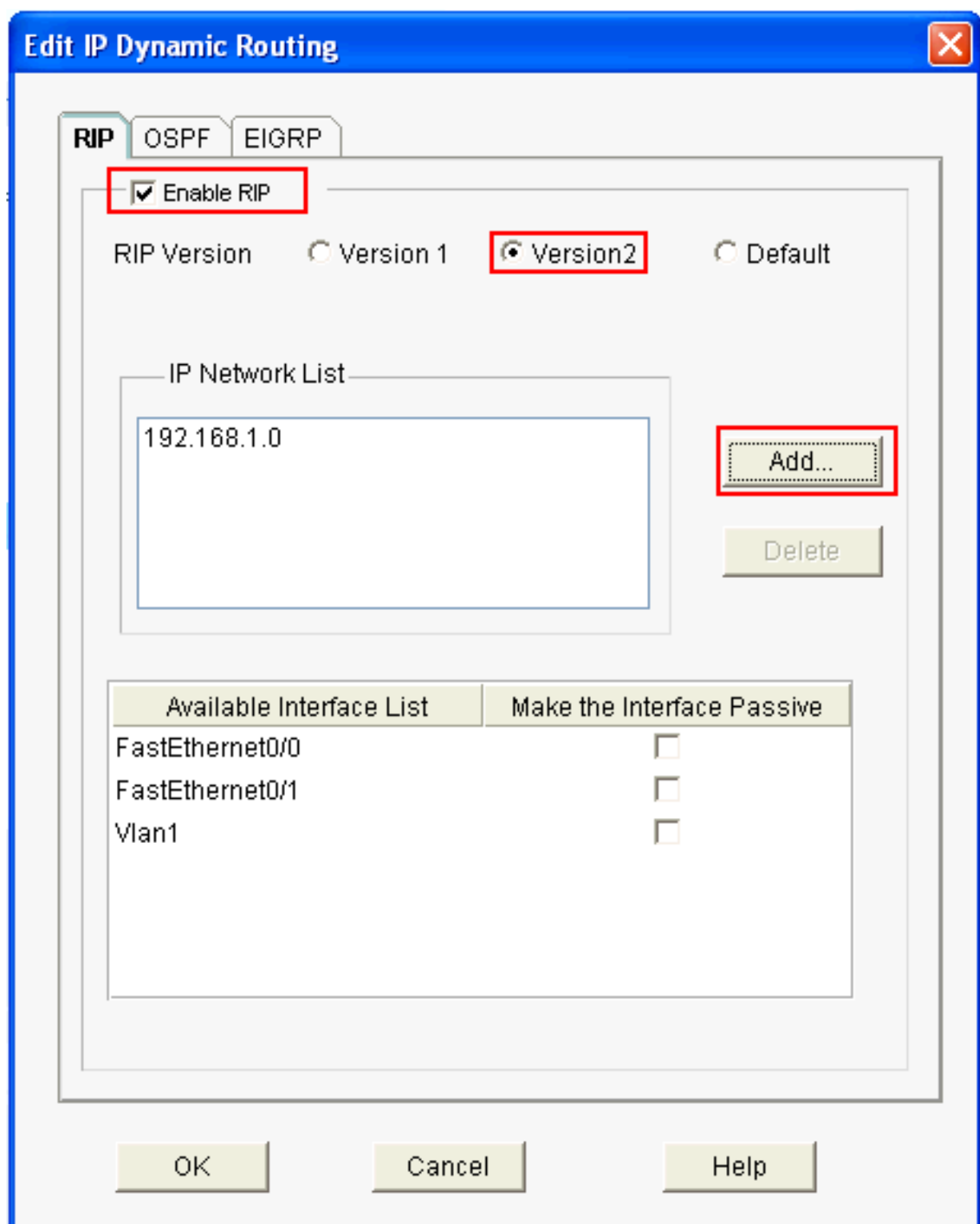
[RIP] を選択し、[Edit] をクリックします。

The screenshot shows a 'Routing' configuration window. The 'Static Routing' section is currently active, displaying a table with columns for Destination Network (Prefix, Prefix Mask), Forwarding (Interface or IP address), and Optional (Distance, Permanent Route, Track). Below this is a scrollable area. The 'Dynamic Routing' section is visible below, with an 'Edit...' button highlighted in red. It contains a table with columns 'Name' and 'Status'.

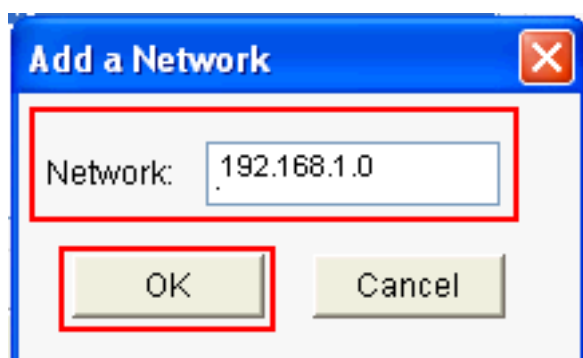
Static Routing					
Destination Network	Forwarding	Optional			
Prefix	Prefix Mask	Interface or IP address	Distance	Permanent Route	Track

Name	Status
RIP	Disabled
OSPF	Disabled
EIGRP	Disabled

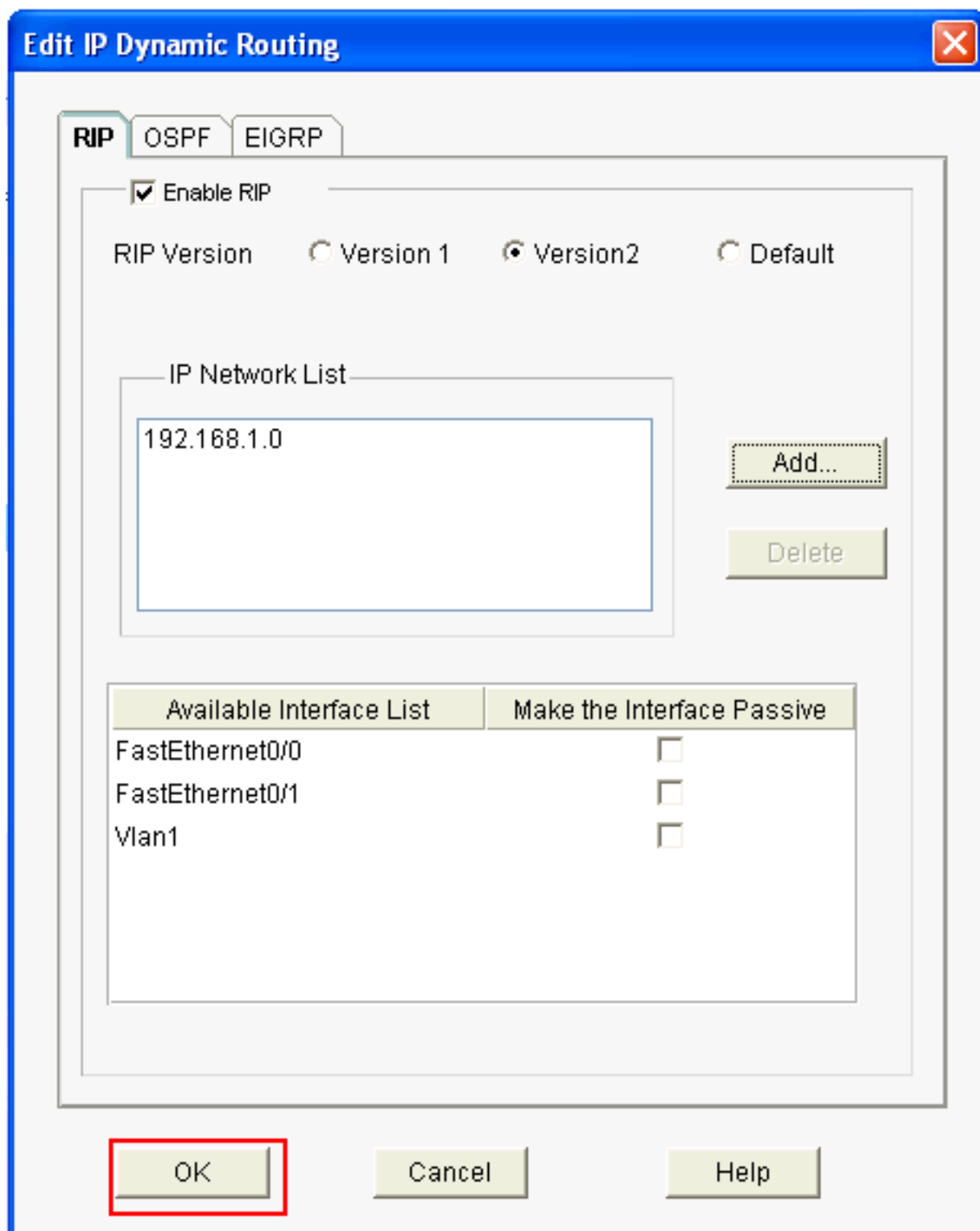
[Enable RIP] にチェックマークを入れて RIP のバージョンを選択し、[Add] をクリックします。



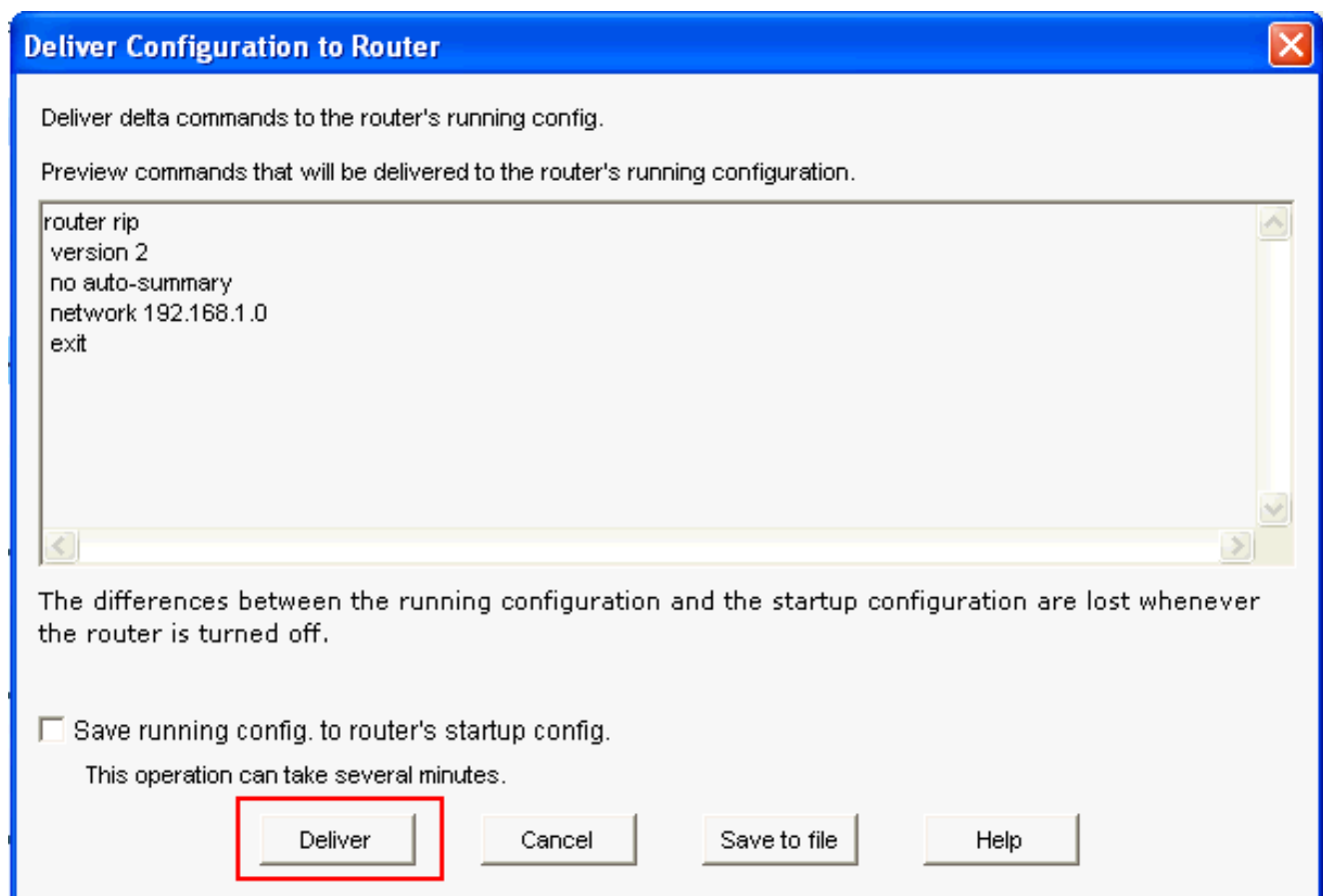
アドバタイズするネットワークアドレスを指定します。



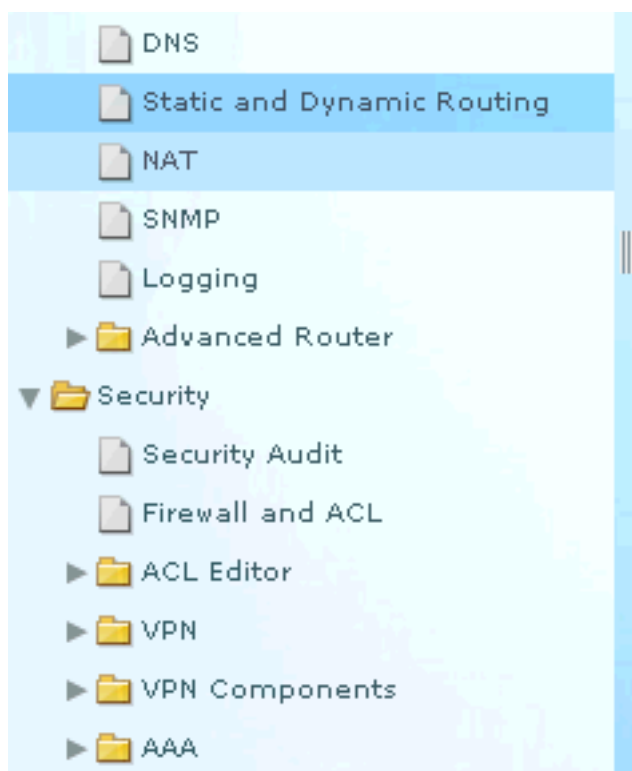
[OK] をクリックします。



[Deliver] をクリックして、コマンドをルータに転送します。



次のウィンドウに、ダイナミック RIP ルーティングの設定が表示されます。



Dynamic Routing		Edit...
Item Name	Item Value	
RIP	Enabled	
RIP Version	Version2	
Network	192.168.1.0	
Passive Interface	None	
OSPF	Disabled	
EIGRP	Disabled	

その他の設定

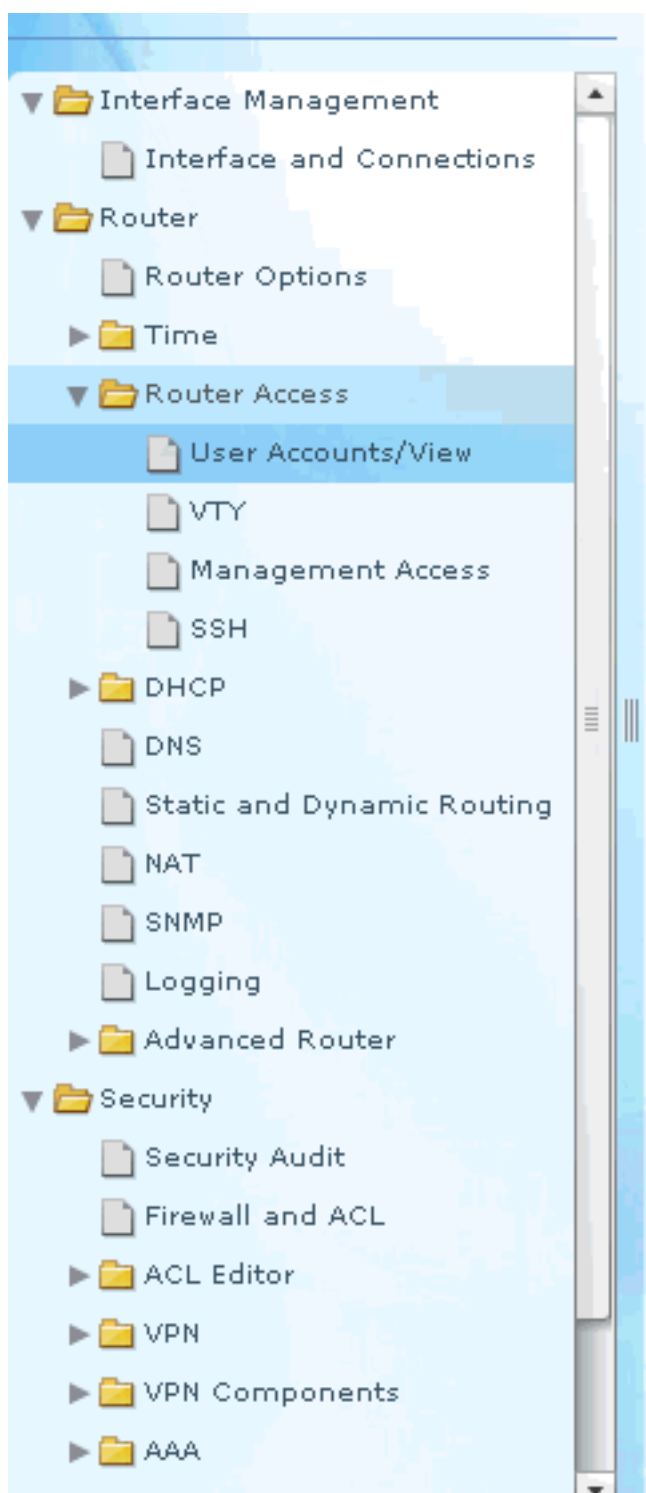
Cisco ルータでその他の基本的な設定を行うには、次の手順を実行します。

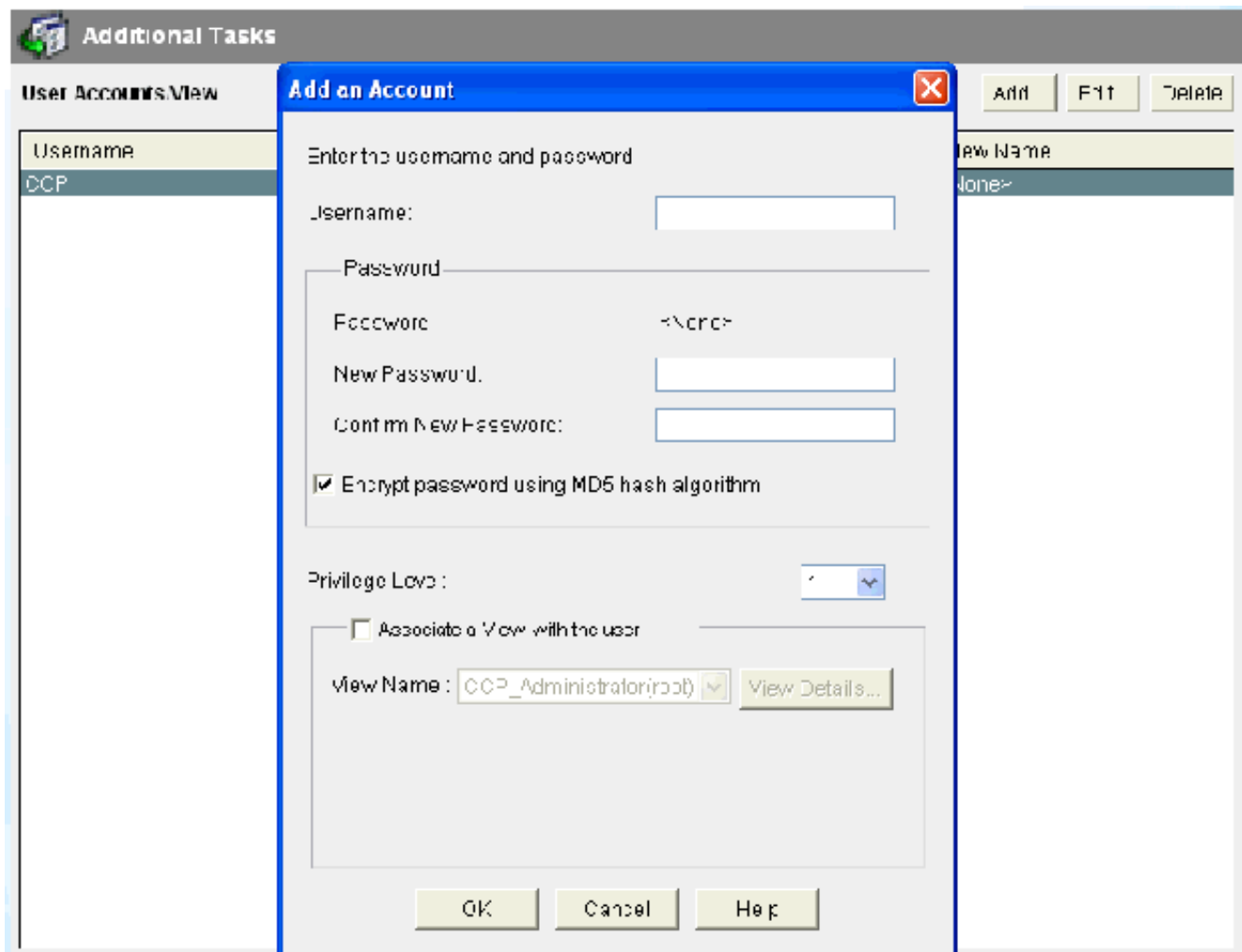
ルータの [Hostname]、[Domain Name]、[Banner]、[Enable Secret Password] の各プロパティを変更する場合、[Configure] > [Router] > [Router Options] の順に選択して [Edit] をクリックします。

The screenshot shows the Cisco configuration interface. On the left, a tree view shows the navigation path: Interface Management > Router > Router Options. On the right, the 'Additional Tasks' panel is visible, containing a 'Device Properties' table.

Item Name	Item Value
Hostname	Router
Domain Name	
Banner	None
Enable Secret Password	None

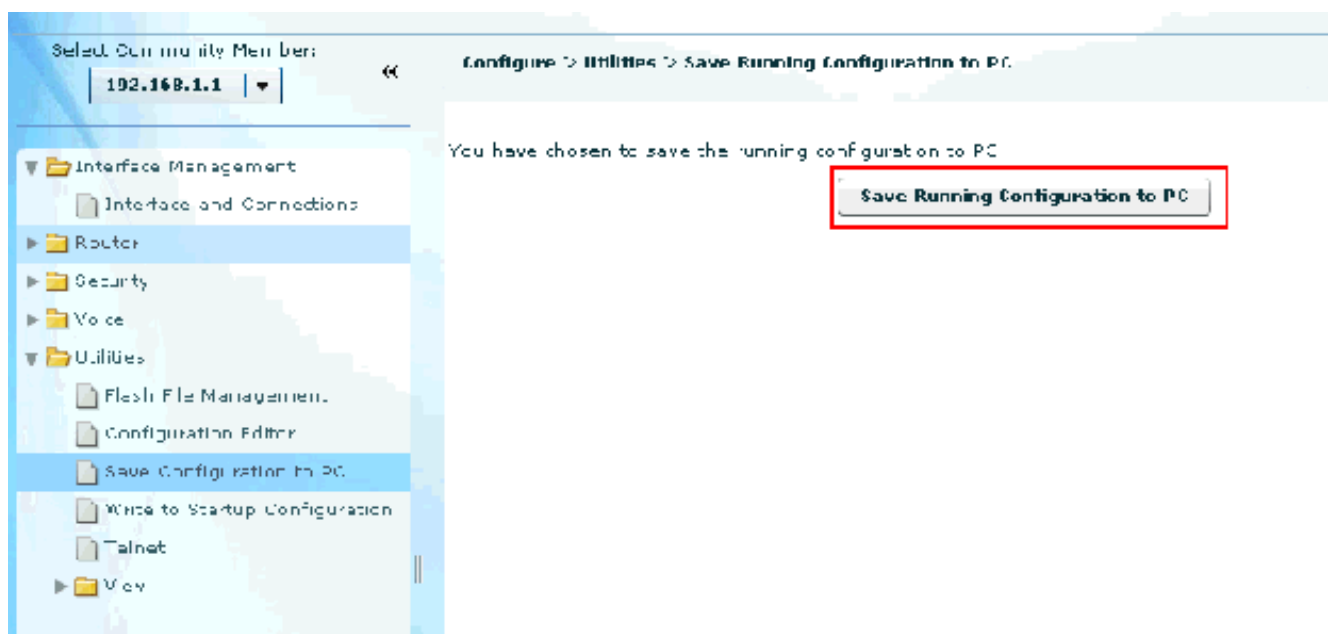
[Configure] > [Router Access] > [User Accounts/View] の順に選択し、ルータに対するユーザアカウントの追加/編集/削除を行います。





[Configure] > [Utilities] > [Save Running Config to PC] の順に選択し、ルータの NVRAM および PC に設定を保存し、現在の設定をデフォルト（工場出荷時）設定にリセットします。

注: CCP を使用して、コンピュータに保存されている設定ファイルをルータに復元したり、ルータの設定ファイルをコンピュータにバックアップするには、Configuration Editor にアクセスして [I agree] をクリックします。[Configure] ウィンドウで [Import configuration from PC] を選択し、[replace running configuration] ボタンをクリックします。



CLI 設定

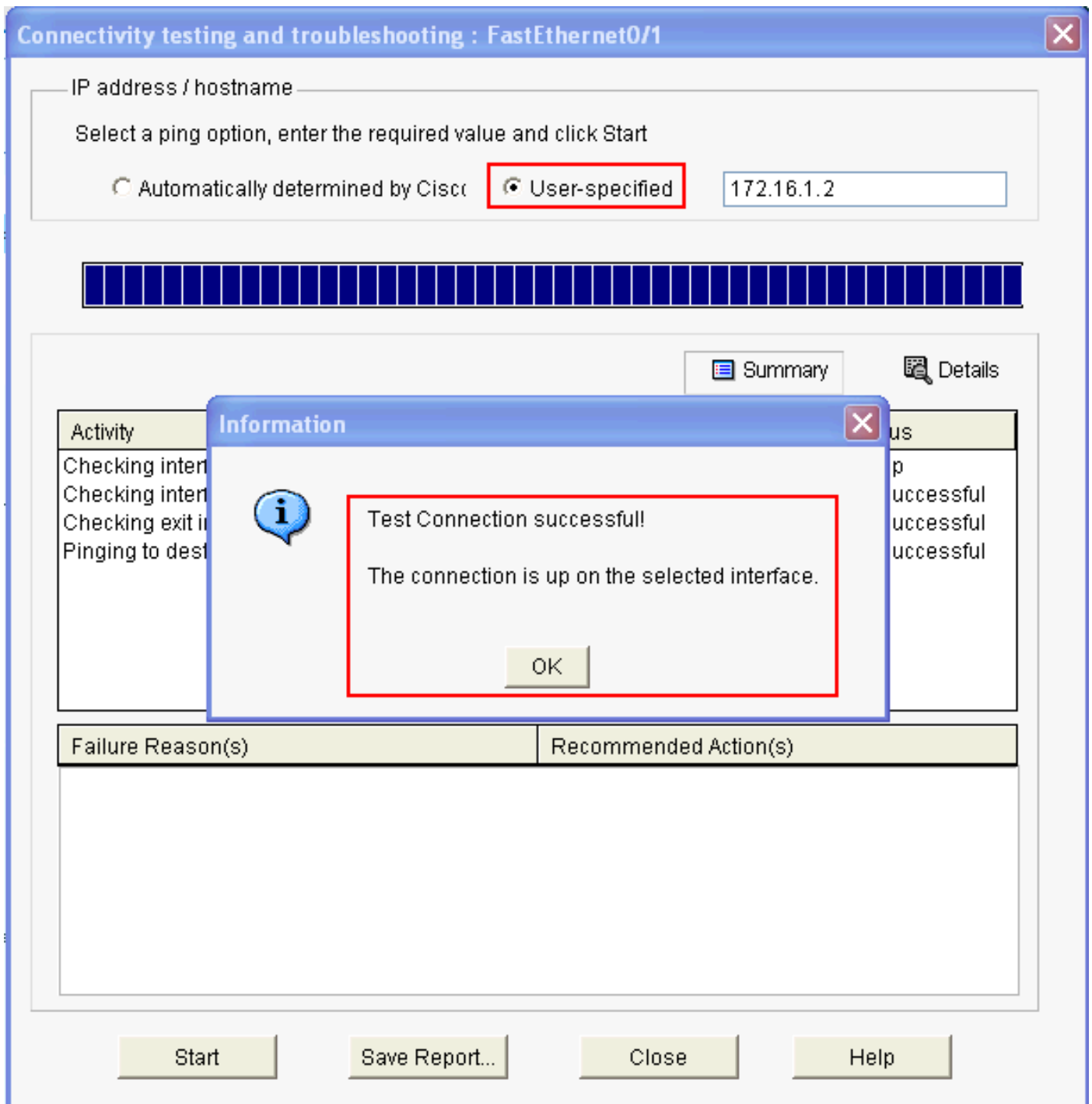
ルータの設定

```
Router#show run Building configuration... Current
configuration : 2525 bytes ! version 12.4 service
timestamps debug datetime msec service timestamps log
datetime msec no service password-encryption ! hostname
Router ! boot-start-marker boot-end-marker ! no logging
buffered enable password cisco ! no aaa new-model !
resource policy ! ! ! ip cef ! ! ! !--- RSA certificate
generated after you enable the !--- ip http secure-
server command. crypto pki trustpoint TP-self-signed-
2401602417 enrollment selfsigned subject-name cn=IOS-
Self-Signed-Certificate-2401602417 revocation-check none
rsakeypair TP-self-signed-2401602417 crypto pki
certificate chain TP-self-signed-2401602417 certificate
self-signed 01 30820248 308201B1 A0030201 02020101
300D0609 2A864886 F70D0101 04050030 31312F30 2D060355
04031326 494F532D 53656C66 2D536967 6E65642D 43657274
69666963 6174652D 32343031 36303234 3137301E 170D3130
30353139 30393031 31315A17 0D323030 31303130 30303030
305A3031 312F302D 06035504 03132649 4F532D53 656C662D
5369676E 65642D43 65727469 66696361 74652D32 34303136
30323431 3730819F 300D0609 2A864886 F70D0101 01050003
818D0030 81890281 8100CD35 A3A6E322 9B6005DA A0FF26C2
8A0DC5AF 27B38F3B DBF2BF58 D8F2655D 31115681 EC8BC750
03FE3A25 0F79DC74 3A839496 CB9486F1 A1F5BF43 D92BA7AF
3C72A57B D8D37799 50493588 A5A18F7F 27955AB0 AC36B560
3BE9F648 A4F6F41F B9E9C5E6 F9570DEB 5555FDED 9593BD00
5ABB30CD D3B9BDF4 F570F987 651652CE 3D310203 010001A3
70306E30 0F060355 1D130101 FF040530 030101FF 301B0603
551D1104 14301282 10526F75 7465722E 70616D6D 692E636F
6D301F06 03551D23 04183016 80146A0A C2100122 EFDA58AB
C319820D 98256622 52C5301D 0603551D 0E041604 146A0AC2
100122EF DA58ABC3 19820D98 25662252 C5300D06 092A8648
86F70D01 01040500 03818100 83B0EC8C 6916178F 587E15D6
5485A043 E7BB258D 0C9A63F2 DA18793D CACC026E BC0B9B33
F8A27B34 5BD7DD7F FCECA34F 04662AEC 07FD7677 A90A8D1C
49042963 C2562FEC 4EFFF17C 360BF88A FEDC7CAA AE308F6C
A5756C4A F574F5F3 39CE14AE BAAEC655 D5920DD0 DA76E296
B246E36E 16CFBC5A 00974370 170BBDAD C1594013 quit ! ! !
! ! ! ! ! !--- Create a user account named ccpccp with
all privileges. username ccpccp privilege 15 password 0
cisco123 archive log config hidekeys ! ! ! ! ! !---
The LAN interface configured with a private IP address.
interface FastEthernet0/0 description $ETH-LAN$ ip
address 192.168.1.1 255.255.255.0 !--- Designate that
traffic that originates from behind !--- the interface
is subject to Network Address Translation (NAT). ip nat
inside ip virtual-reassembly duplex auto speed auto ! !-
-- This is the LAN interface configured with a routable
(public) IP address. interface FastEthernet0/1
description $ETH-WAN$ ip address 172.16.1.1
255.255.255.0 !--- Designate that this interface is the
!--- destination for traffic that has undergone NAT. ip
nat outside ip virtual-reassembly duplex auto speed auto
! ! !--- RIP version 2 routing is enabled. router rip
version 2 network 192.168.1.0 no auto-summary !--- This
is where the commands to enable HTTP and HTTPS are
configured. ip http server ip http authentication local
ip http secure-server ! !--- This configuration is for
dynamic NAT. ! !--- Define a pool of outside IP
```

```
addresses for NAT. ip nat pool pool 10.10.10.1
10.10.10.100 netmask 255.255.255.0 !--- In order to
enable NAT of the inside source address, !--- specify
that traffic from hosts that match access list 1 !---
are NATed to the address pool named pool1. ip nat inside
source list 1 pool pool1 ! !--- Access list 1 permits
only 122.168.1.0 network to be NATed. access-list 1
remark CCP_ACL Category=2 access-list 1 permit
192.168.1.0 0.0.0.255 ! !--- This configuration is for
static NAT !--- In order to translate the packets
between the real IP address 10.10.10.1 with TCP !---
port 80 and the mapped IP address 172.16.1.1 with TCP
port 500. ! ip nat outside source static tcp 10.10.10.1
8080 172.16.1.1 80 extendable ! ! ! ! !--- The default
route is configured and points to 172.16.1.2. ip route
0.0.0.0 0.0.0.0 172.16.1.2 ! ! ! ! control-plane ! ! ! !
! ! ! ! ! line con 0 line aux 0 !--- Telnet enabled
with password as cisco. line vty 0 4 password cisco
transport input all line vty 5 15 password cisco
transport input all ! ! ! end
```

確認

[Configure] > [Interface] & [Connections] > [Edit Interface Connections] > [Test Connection] の順に選択して、エンドツーエンド接続をテストします。リモートエンドの IP アドレスを指定するには、[User-specified] オプション ボタンをクリックします。



トラブルシューティング

[Output Interpreter Tool](#) (OIT) ([登録ユーザ専用](#)) では、特定の **show** コマンドがサポートされています。OIT を使用して、**show** コマンド出力の解析を表示できます。


注: debug コマンドを使用する前に、『[デバッグ コマンドの重要な情報](#)』を参照してください。

次の方法をトラブルシューティングに使用できます。

[Help] > [About this Router] を選択して、ルータのハードウェアおよびソフトウェアの詳細情報を表示します。

Configuration Professional News : Unavailable due to connection failure with www.cisco.com

Device Information

 Cisco 2811

Hardware Details

Model Type:	Cisco 2811
Available / Total Memory(MB):	66/256 MB
Total Flash Capacity:	61 MB

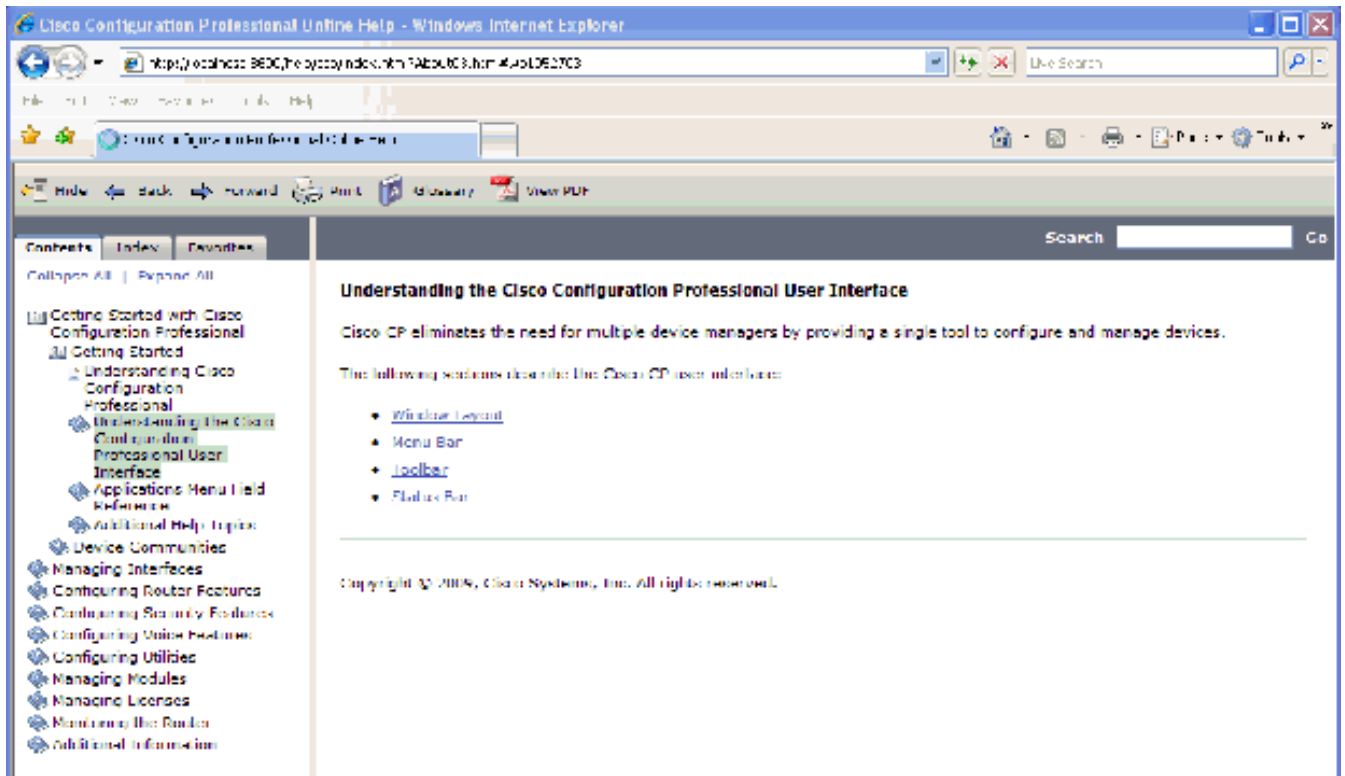
Software Details

IOS Version:	12.4(24)T3
IOS Image:	c2800nm-adventerprisek9-mz.124-24.T3.bin
Hostname:	Router2811

Feature Availability: IP Firewall VPN IPS NAC

[Close](#)

[Help] オプションでは、ルータの設定に使用できる Cisco CP のさまざまなオプションに関する情報が表示されます。



ルータのユーザ名とパスワードを変更するには、どうすればよいですか。

ルータのユーザ名とパスワードは、Cisco CP を使用して変更できます。ユーザ名とパスワードを変更するには、次の手順を実行します。

新しい一時的なユーザ アカウントを作成して、一時的なユーザ アカウントにログインします。

Cisco CP で、メインのユーザ アカウント (ユーザ名とパスワードを変更するルータのユーザ アカウント) のユーザ名とパスワードを変更します。

一時的なアカウントからログアウトし、メインのユーザ アカウントにログインします。

メイン アカウントのパスワードを変更したら、一時的なユーザ アカウントを削除します。

Internet Explorer 8 を使用して Cisco CP にアクセスすると内部エラーを受け取ります。この問題を解決するにはどうすればよいですか。

問題

Internet Explorer 8 を使用して、Cisco CP で 2800 シリーズのルータを設定すると、この内部エラーを受け取る場合があります。

```
Internal error: [FaultEvent fault=[RPC Fault faultString="Send failed"
faultCode="Client.Error.MessageSend" faultDetail="Channel.Connect.Failed error
NetConnection.Call.Failed: HTTP: Status 200: url: 'http://localhost:8600/messagebroker/amf'"]
messageId="A08846FF-E7C6-F578-7C38-61C6E94899C7" type="fault" bubbles=false cancelable=true
eventPhase=2] ]
```

Java をダウングレードしてもこの問題は解決しません。

解決策

このエラーは、ブラウザの互換性の問題によって発生している可能性があります。Internet Explorer 8 では、IE のアプリケーション開発に関する多くの基礎的な要素が変更されています。シスコでは、Internet Explorer をバージョン 7 にダウングレードすることを推奨しています。また、Cisco CP もアンインストールして再インストールする必要があります。

[Cisco CP をインストールしようとする、次のエラーメッセージを受け取ります。「Unable to read the source file. File could be Corrupted. Please re-install Cisco Configuration Professional to resolve the issue.」この問題を解決するにはどうすればよいですか。](#)

問題

アプリケーションのセットアップ ファイルをダウンロードし、Cisco CP をインストールしようすると、このエラーを受け取る場合があります。

Unable to read the source file. File could be Corrupted.

Please re-install Cisco Configuration Professional to resolve the issue

解決策

これを解決するには、次の手順を実行してください。

PC 上のすべての Cisco CP インスタンスを削除し、新たにダウンロードしてフレッシュインストールを実行します。

前の手順で解決しない場合、別のバージョンの Cisco CP をダウンロードします。

それでも解決しない場合は、[Cisco TAC](#) にご連絡ください。

注: Cisco TAC へのご連絡には、有効なシスコ ユーザ クレデンシャルが必要になります。

[Cisco CP テクニカル ログにはどのようにしてアクセスできますか。](#)

[Start] > [Programs] > [Cisco Systems] > [Cisco Configuration Professional] > [Collect Data for Tech Support] の順にクリックします。Cisco CP では、_ccptech.zip という名前の zip ファイルに、ログを自動的にアーカイブします。デスクトップに保存されていない場合は、ローカル ファイル システムでこのファイルの検索を実行します。それ以上のトラブルシューティングのための [CiscoTAC](#) にこれらの技術的なログを送信できます。

注: ログのアーカイブに関するその他の問題をなくすため、Cisco CP のすべてのインスタンスを閉じてください。

[ルータの検出に通常より時間がかかっています。この問題を解決するにはどうすればよいですか。](#)

問題

Cisco CP を起動してコミュニティを設定すると、ルータの検出には通常よりも時間がかかるようになります。次に示すのは、経過時間を示す Cisco CP ログです。

```
July 10, 2009 8:29:19 AM EDT Discovering device test-router
July 10, 2009 8:29:20 AM EDT Last discovery clean-up elapsed time was 47 milliseconds.
July 10, 2009 8:31:13 AM EDT Discovery job allocation elapsed time was 113859 milliseconds.
July 10, 2009 8:31:13 AM EDT Authentication completed.
July 10, 2009 8:40:28 AM EDT Video feature disabled. Video feature discovery elapsed time=214375
ms
July 10, 2009 8:51:15 AM EDT Security feature ready - elapsed time was 860734 milliseconds.
July 10, 2009 8:51:16 AM EDT Total device test-router discovery elapsed time was 1316047
milliseconds.
```

この問題は、モデルやプラットフォームにかかわらず、すべてのルータで発生します。また、ルータにはメモリや CPU に関連する問題はありません。

解決策

認証モードを確認します。認証がローカルで行われていない場合は、認証サーバに問題がないかチェックします。認証サーバに問題がある場合は修正して、この問題を解決します。

[Cisco CP で IPS 設定ページを表示できません。この問題を解決するにはどうすればよいですか。](#)

問題

[Configuration] ウィンドウの特定の機能で空白ページしか表示されない場合、互換性の問題の可能性が考えられます。

解決策

この問題を解決するには、次の項目を確認します。

その特定の機能がルータ モデルでサポートされ、有効になっているかを確認します。

ルータのバージョンがその機能をサポートしているかを確認します。バージョンをアップグレードすることで、ルータ バージョンの互換性の問題を解決できる場合があります。

現在のライセンスの問題ではないか確認します。

関連情報

- [Cisco Configuration Professional クイック スタート ガイド](#)
- [Cisco 製品に関するサポートページ：ルータ](#)
- [NAT に関するサポートページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)